

令和元年度（平成31年度）事業報告書



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

令和元年度（平成31年度）事業報告

I 総 括

平成から令和に元号がかわり、新しい時代の幕開けとなった今年度も、社会的に大きな影響を与えた事件・事故、災害等が発生しました。東京池袋や滋賀県大津市で発生した交通事故、梅雨前線の停滞や度重なる台風上陸による風水害、沖縄首里城の火災など尊い命や財産、心の支えとなる文化遺産などが奪われ多くの方々の生活が脅かされています。また、年明けから世界的に感染が拡大している新型コロナウイルスについては、我が国でも戦後最大の危機ともいわれる厳しい状況となっており、感染防止に向けて私たち一人ひとりが自分のいのち、また大切な人のいのちを守る行動が必要となっています。

そのような中で、日々の生活に目を向けると孤立・孤独から関連する、貧困、生活困窮、虐待、ひきこもりといった課題が深刻化しており、京丹波町においても支援を必要とする方が制度やサービスにつながらず潜在化している現状があると思われまます。

京丹波町社会福祉協議会では、そのような課題を解決するため、効果的な支援やサービスの提供をはじめ、住民相互による助け合い活動（住民寄り添い型助け合い活動かがやき）や地域での見守り活動（京丹波町見守りネットワーク事業）を中心に、住民の皆さまと共に地域を支える取組みを進めました。さらに、ひきこもり状態の方やその家族に向けた支援として、気軽に利用できる居場所（にじの家）を開設し相談や情報提供、交流や創作活動をとおした社会参加の促進を図る取組みも始めました。

また今年度は、本町として第1期となる「京丹波町地域福祉活動計画」の策定にも取り組みました。この計画は、京丹波町の行政計画である「地域福祉計画」に基づき、住民が相互に支え合う仕組みや活動を示すものであり、策定に向けては住民や中学生・高校生から直接声を聞き、意見を集約してきました。その中で、地域の中には京丹波町に対する思いを持った方がたくさんいらっしゃる事が分かりました。そこで、次年度では思いを語り合うテーマ別座談会「〇〇を語ろうな」を重点事業として取組み、地域にある「困りごと」「気になること」を地域全体の課題として捉え、同じ思いを持つ方同士がつながり、つながりが生まれることで、新たな地域活動を推進していきたいと考えております。

最後に、「全ての住民の心が輝く福祉のまちづくり」の運営理念のもと、高齢者・障がい者・児童等のあらゆる分野への支援事業を、町行政や関係機関、地域の住民の方々にもご協力・ご参加いただきながら地域の福祉力向上に向けた活動を展開しました。以下、それぞれの事業を報告いたします。

II 社会福祉協議会運営基盤の強化

1 会員増強運動

社会福祉協議会(以下、社協)は、地域で暮らす住民のみなさんが主体となって運営される民間の団体であり、住民のみなさんに会員となっていただき住民主体の福祉活動を進めていきます。

会費を納めていただくことで、地域福祉の推進に取り組む社協の貴重な財源となり事業の運営やサービスの参加・協力を財政面で支えていただくこととなります。

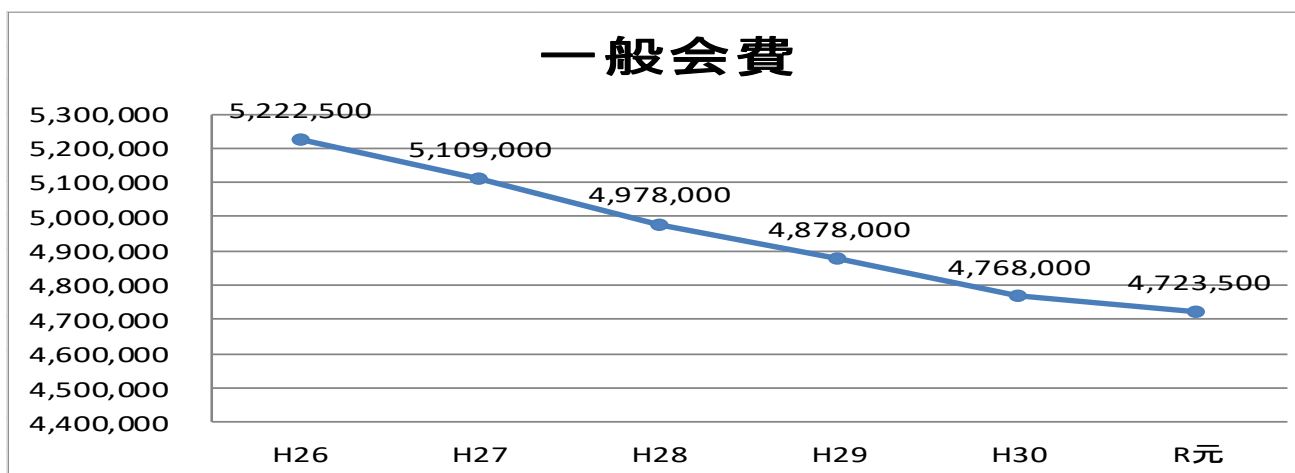
●会費納入状況

会員種別	丹波	瑞穂	和知	町外	合計	備考
一般会員	1,827,000	1,554,000	1,337,500	5,000	4,723,500	成人者：1,000円
特別会員	25,000	175,000	45,000	85,000	330,000	会社・事業所等：5,000円
賛助会員	45,000	0	6,000	0	51,000	福祉施設・団体等：3,000円
合計	1,897,000	1,729,000	1,388,500	90,000	5,104,500	

一般会費地区ごとの内訳

		H26	H27	H28	H29	H30	R元
丹波	会費	2,032,000	1,997,000	1,940,000	1,898,000	1,829,000	1,827,000
	成人数	6,452	6,352	6,269	6,165	6,057	5,959
	加入率	31.5%	31.4%	30.9%	30.8%	30.2%	30.7%
瑞穂	会費	1,719,000	1,681,000	1,632,000	1,611,000	1,581,000	1,554,000
	成人数	3,914	3,850	3,793	3,702	3,625	3,576
	加入率	43.9%	43.7%	43.0%	43.5%	43.6%	43.5%
和知	会費	1,471,500	1,431,000	1,406,000	1,369,000	1,355,000	1,337,500
	成人数	2,842	2,771	2,705	2,660	2,602	2,545
	加入率	51.8%	51.6%	52.0%	51.5%	52.1%	52.5%
全域	会費	5,222,500	5,109,000	4,978,000	4,878,000	4,768,000	4,723,500
	成人数	13,208	12,973	12,767	12,527	12,284	12,080
	加入率	39.5%	39.4%	39.0%	38.9%	38.8%	39.1%

※一般会費の推移(単位：円)



【成果・課題】

- ・特別会員として町内外の会社・事業所等に新規の協力依頼を行い6件の入会をいただいた。しかし、退会や一般会員の減少など、全体では減少傾向となっている。

2 法人運営

●会 務

(1) 理事・監事会・・・6回

R元.5.21	会長職務執行状況報告、評議員候補者の同意、30年度事業報告・収支決算、第1回評議員会開催、苦情解決処理規程の変更、他
R元.6.24	正副会長の選任、第3回理事会開催、他
R元.7.19	会長職務執行状況報告、各種委員会委員の選出、2019福祉まつりの開催、他
R元.11.29	会長職務執行状況報告、2019福祉まつり報告、グループホーム設置要望書、元年度補正予算(案)、元年度上半期事業執行状況・予算執行状況の確認、第2回評議員会開催、登録ヘルパー給与規程の改訂、他
R2.1.29	評議員候補者の同意、第1期京丹波町地域福祉活動計画素案の確認、訪問入浴事業について、第3回評議員会開催、他
R2.3.3	新型コロナウイルス感染防止対策、会長職務執行状況報告、評議員・選任解任委員会報告、元年度第2次補正予算(案)、2年度事業計画(案)・予算(案)、訪問入浴介護事業廃止に伴う定款変更、第1期京丹波町地域福祉活動計画承認、評議員会決議省略、他

(2) 監査会・・・2回

R元.5.16	30年度事業及び収支決算について監査
R元.11.13	元年度上半期事業執行状況及び予算執行状況について監査

(3) 評議員会・・・3回

R元.6.24	理事・監事の承認、30年度事業報告・収支決算
R元.12.20	元年度補正予算、元年度上半期事業執行状況・予算執行状況の確認
R2.3.31	元年度第2次補正予算、2年度事業計画・予算、訪問入浴介護事業廃止に伴う定款変更 ※評議員開催を省略し書面での決議

(4) 三役・管理職会議・・・7回

R元.7.8	第3回理事会、夏季休暇、2019福祉まつり、各課からの報告、他
R元.9.26	非常勤職員給与規程見直し、働き方改革、来年度予算要望、障害者一般相談、第4回理事会、各課からの報告、他
R元.10.23	台風19号被害への支援活動、働き方改革、内部登用試験、グループホーム設置要望書、来年度予算要望、第4回理事会、各課からの報告、他
R元.11.21	内部登用試験、働き方改革、来年度予算要望、第2回評議員会、各課からの報告、他
R元.12.17	障害者一般相談、働き方改革、第5回理事会、各課からの報告、他
R2.1.21	作業所嘱託職員採用、地域福祉活動計画、訪問入浴介護事業、町国民健康保険運営協議会委員、市町村社協役員セミナー、各課からの報告、他
R2.2.26	新型コロナウイルス感染防止対策、第6回理事会、来年度体制、職員募集、他

(5) 各種運営委員会

委員会名	丹波	瑞穂	和知	合計
心配ごと相談所運営委員会		0		0
福祉資金貸付委員会	0	2	0	2
ボランティアバンク運営委員会		2		2
理事・監事推薦委員会		1		1
評議員選任・解任委員会		2		2

(6) 管理職（課長）会議・・・14回

H31. 4. 17	30年度年休所得状況、30年度事業報告、法人内部研修、今後の予定、各課からの報告、他
R元. 5. 16	30年度事業報告、係長会議、業務目標シート、各課からの報告、他
R元. 6. 14	係長会議、府内社協の不適切事案発生に伴う再発防止、今後の予定、各課からの報告、他
R元. 7. 11	厨房職員募集、第3回理事会、社会福祉法人連絡会、火災保険、福祉避難所への人材派遣、障害者一般相談、各課からの報告、他
R元. 8. 21	厨房職員募集、働き方改革、特定処遇改善加算、障害者一般相談、各課からの報告、他
R元. 9. 18	非常勤職員給与規程見直し、来年度予算要望、障害者一般相談、各課からの報告、他
R元. 10. 17	上半期事業報告、働き方改革、内部登用試験、職員研修、他
R元. 11. 15	内部登用試験、働き方改革、職員研修、来年度予算要望、業務振り返りシート、各課からの報告、他
R元. 12. 11	働き方改革、日直業務、車両の確保、仕事納め、仕事始め、各課からの報告、他
R2. 1. 16	作業所嘱託職員募集、第5回理事会、来年度に向けて、評議員選任・解任委員会、各課からの報告、他
R2. 2. 13	各部署事業計画、来年度に向けて、各課からの報告、他
R2. 3. 12	内示、全体職員会議、三六協定、新型コロナウイルスへの対応、各課からの報告、他
R2. 3. 24	新型コロナウイルス感染防止対策
R2. 3. 30	新型コロナウイルス感染防止対策

(7) 職員内部研修、会議・・・2回

日付	講師	内容
R元. 6. 7	管理職	係長会議 社協全体について ・30年度事業報告、決算による振り返り ・元年度事業計画、収支予算 意見交換 ・財政や今後の展開 ・人材育成、部署を超えた事業の実施、他
R元. 12. 16 R元. 12. 17 R元. 12. 18 R元. 12. 19	南丹警察 山根良樹警部補 大槻奈智子巡查部長	全職員対象交通安全教室 ・危険予測トレーニング



<全職員対象交通安全教室>

【在宅福祉推進事業】

1 福祉サービス利用援助事業

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う。

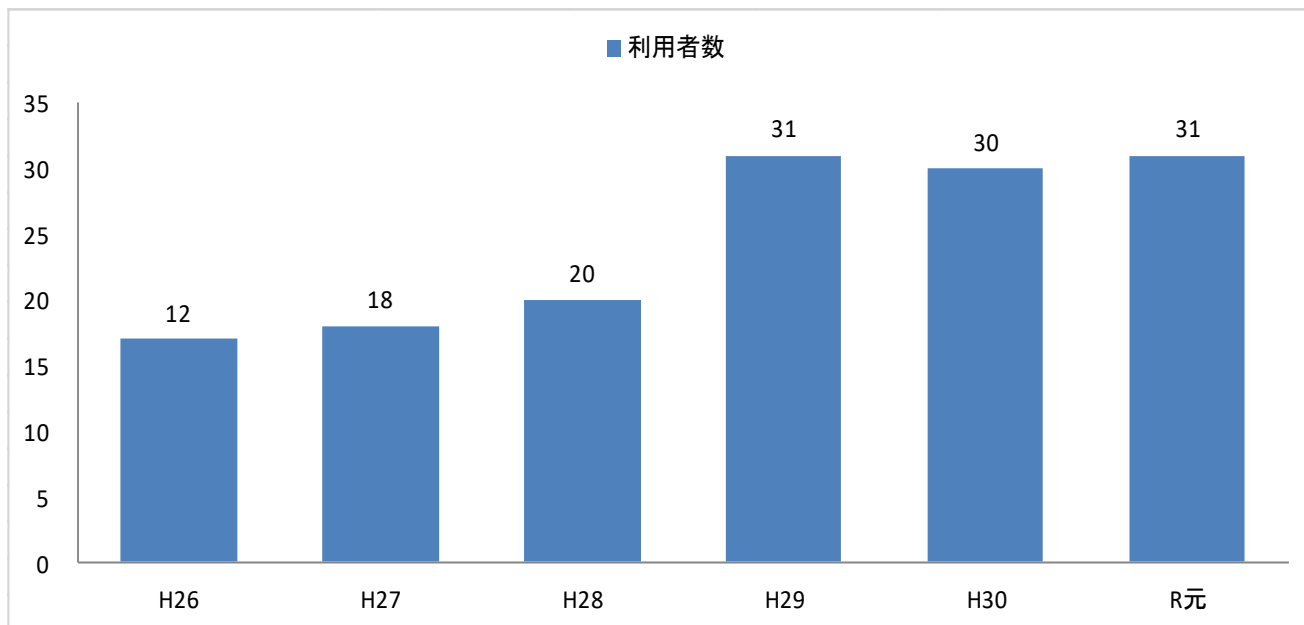
■契約・支援等の件数・・・令和2年3月31日現在

	H30 年度末契約件数					解約件数	新規件数	保留件数	R 元年度支援件数					生活保護受給者数	相談継続件数
	認知症	知的障害	精神障害	その他	計				認知症	知的障害	精神障害	その他	計		
丹波地域	11	2	2	1	16	7	5	2	10	1	2	1	14	5	2
瑞穂地域	5	1	2	1	9	0	2	0	7	1	2	1	11	3	0
和知地域	3	0	1	1	5	0	1	0	4	0	1	1	6	0	0
合 計	19	3	5	3	30	7	8	2	21	2	5	3	31	8	0

①令和元年度 新規契約者数 → 8名

②令和元年度 解約者数 → 7名

■利用者数（単位：人）



■支援内容

支 援 内 容	丹波	瑞穂	和知	合計	備 考
○福祉サービス利用援助	14	11	6	31	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的金銭管理	14	11	6	31	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・印鑑の預かり	13	11	4	28	通帳・印鑑の管理
○書類等の預かりサービス	6	6	2	14	年金証書、権利証書等の預かり

■専門員・支援員研修の開催

専門員・・・4回

研 修 名	開 催 日	内 容
令和元年度福祉サービス利用援助事業第1回専門員担当職員会議	7/9 (火)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告及び令和元年度取組み方針の説明等 福祉サービス利用援助事業の運営・成年後見制度利用促進の取組みについて
南丹B生活支援員研修交流会検討会議	8/6 (火)	<ul style="list-style-type: none"> 南丹ブロック現任生活支援員研修交流会開催に向けての会議
南丹B生活支援員研修交流会検討会議	9/5 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 南丹ブロック現任生活支援員研修交流会開催に向けての会議
令和元年度福祉サービス利用援助事業1回専門員担当職員会議2及び南丹・乙訓B事例等検討会	12/18 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉権利擁護事業及び市町村における権利擁護体制の推進について 生活困窮者支援事業について 事例検討会

※今年度は台風第19号・10月25日からの大雨による災害対応と新型コロナウイルスの流行により、研修の中止が相次いだため例年より開催が少なかった。

生活支援員・・・2回

研 修 名	開 催 日	内 容
令和元年度生活支援員新任研修	10/8 (火)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス利用援助事業生活支援員の職務について 実践報告 講義
南丹ブロック現任生活支援員研修交流会	12/5 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 丹波支援学校より講義 交流会

【成果・課題】

- 現在の契約件数は31名。特に認知症の利用者が多くなっており、日常的に生活面の様々な変化があるため、予定に無い臨時の支援を求められることが多くなっている。
- 利用者だけでなく同居の家族に障害や認知症の方がおられるケースが複数有り、そのようなケースには世帯含めての支援を行う必要がある。
- 遠方の病院への入院やサポートハウス、ショートステイを利用されている利用者もあり、それぞれの施設の相談員やケアマネジャー、生活保護ケースワーカーや町職員の他、金融機関職員を含め複数の関係者と連携しながら利用者支援を行っている。
- 今年度の解約7件の内、4件は特養に入所、1件は障害者施設入所、1件は家族対応、1件は死亡であった。

2 住民寄り添い型助け合い活動かがやき

世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められている中、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持で助け合う活動の推進を行う。

(1) 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数 (件)	6	12	14	15	7	8	10	16	24	8	15	14	149
新規利用者 数(人)	2	1	3	4	0	2	1	6	4	0	1	0	24
相談件数 (活動外)	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	6

(2) 依頼内容

依頼内容	件数	依頼内容	件数
掃除	69	荷物整理	3
洗濯(畳む、干す)	14	家具移動	3
見守り	12	模様替え	2
草引き	8	障子張り替え	2
ガラス戸拭き	8	下駄箱整理	2
衣替え・衣類整理	7	庭掃除	2
ごみ分別	5	冷蔵庫整理	2
ごみ出し	5	食器棚整理	1
エアコン掃除	4		

(3) 登録活動者数

(令和2年3月31日現在)

67名(男性 17名、女性 50名)

【成果・課題】

- ・継続的に新規利用、継続利用があり、昨年度より利用件数が増えている。
- ・年末お掃除応援隊の取組が周知され、申込み件数が増加している。
- ・かがやき活動者による緩和型訪問サービス(主に居室内の掃除)とかがやきを併用するなど、利用者の要望に応じた活動の調整を行い、暮らしの中の困りごとに柔軟に対応していく基盤をつくることができた。
- ・活動に繋がらなかった相談内容(ごみ分別・ごみ出し)の中で、職員が相談者に分別方法を伝え、回収場所まで同行したことで理解され、自力でごみ出しが可能になった方があった。

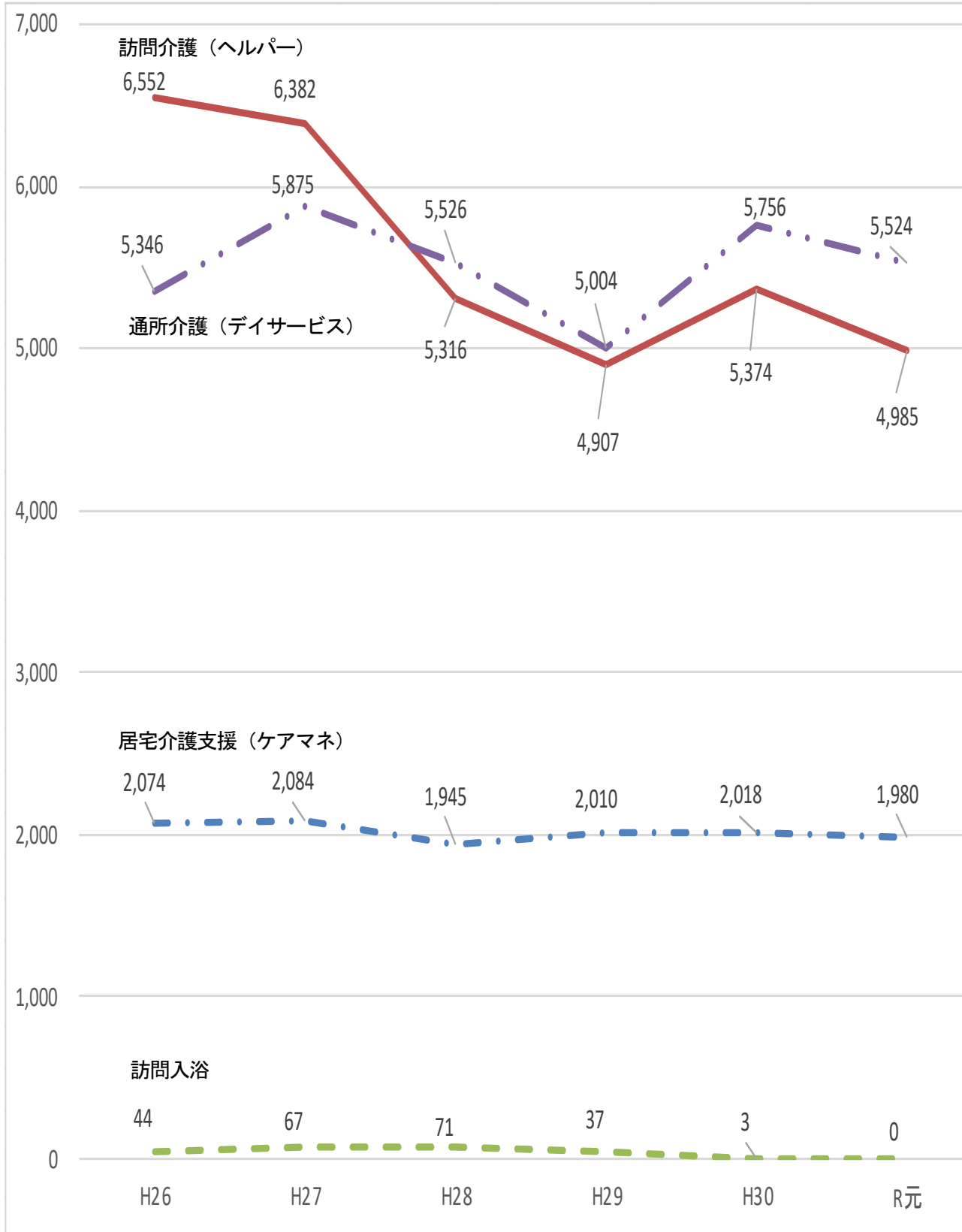


【高齢者福祉事業】

1 介護保険事業

※利用状況推移（要支援1、2、総合事業、要介護1～5の合計）

- ・ケアマネ（延べ利用者数、単位：人）
- ・ヘルパー（延べ提供回数、単位：回）
- ・訪問入浴（延べ提供回数、単位：回）
- ・デイサービス（延べ提供回数、単位：回）



(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

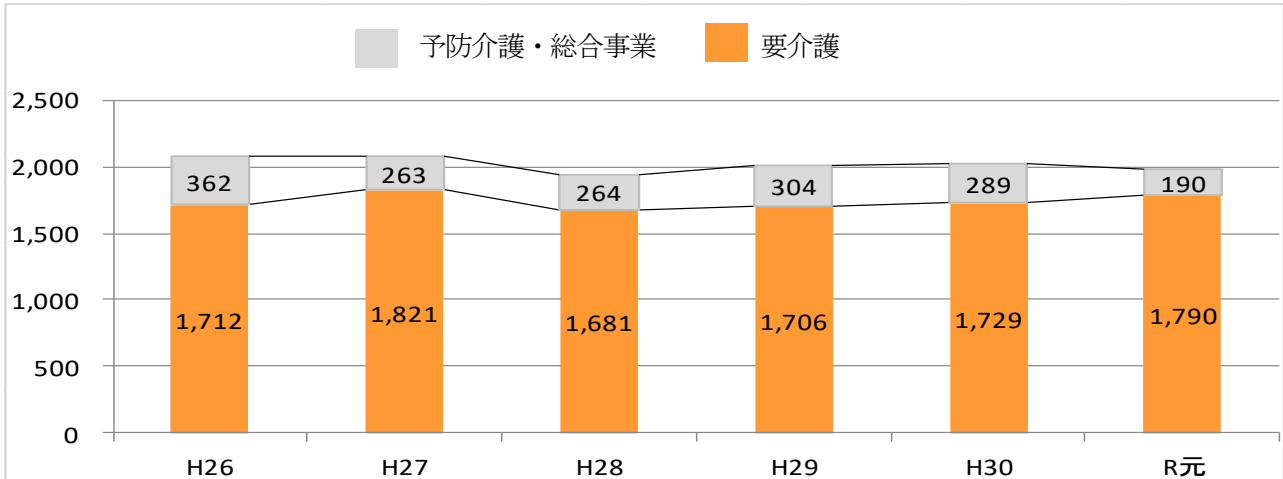
職 種 名	ケアプランセンターほほえみ	備 考
管 理 責 任 者	1名	
ケアマネジャー	6名	1名管理責任者兼務

○高齢者生活支援事業・総合事業・・・京丹波町委託事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、日常生活上の援助が必要な要支援者

■内 容：ケアマネジメント

※利用状況の推移（延べ利用者数、単位：人）



■予防介護支援事業・総合事業の実績（総合事業・要支援1・2の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	要支援1	要支援2	総合事業	合 計
元年度	13	133	44	190
30年度	46	159	84	289
29年度	46	181	77	304
前年度比較（%）	28.2	83.6	52.3	65.7
29年度比較（%）	28.2	73.4	57.1	62.5

■居宅介護支援事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
元年度	500	755	322	153	60	1,790
30年度	546	658	313	187	25	1,729
29年度	553	568	378	168	39	1,706
前年度比	91.5	114.7	102.8	81.8	153.8	103.5
29年度比較	90.4	132.9	85.1	91	240	104.9

【成果】

- ・特定事業所加算Ⅱ取得により、事業所の収益が増した。
- ・加算取得要件である定期的な会議を実施することで、各ケアマネジャーが担当する利用者の状況及等の共有が図れ、事業所全体の体制強化と質の向上につながった。

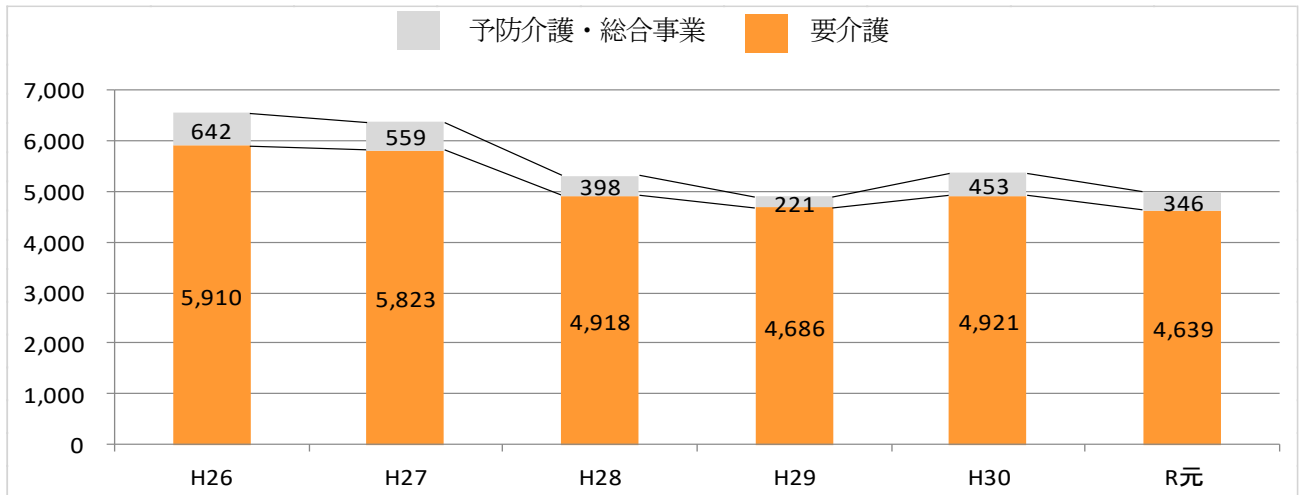
【課題】

- ・既存の介護サービスだけにとらわれないインフォーマル資源の活用を更に進めること。

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

職 種 名	ヘルパーセンターほほえみ	備 考
管理責任者	1名	
サービス提供責任者	2名	常勤ヘルパーが兼務
常勤ホームヘルパー	4名	
登録ホームヘルパー	15名	

※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■ 予防訪問介護事業の実績（総合事業・要支援1・2の利用状況実績）

延べ利用者数 (人)	要 支 援 1	要 支 援 2	総合事業	合 計
元年度	0	31	55	86
30年度	11	41	74	126
29年度	4	19	34	57
前年度比較 (%)	-	75	74	68
29年度比較 (%)	-	163	161	150
延べ提供回数 (回)	要 支 援 1	要 支 援 2	総合事業	合 計
元年度	0	157	189	346
30年度	23	170	260	453
29年度	11	72	138	221
前年度比較 (%)	-	92	72	76
29年度比較 (%)	-	218	136	156

■ 訪問介護事業の実績（介護1～5の利用状況実績）

延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
元年度	127	159	105	43	24	458
30年度	133	164	127	55	24	503
29年度	148	215	73	82	15	533
前年度比	95.5	97.0	82.7	78.2	100.0	91.1
29年度比較	85.8	74.0	143.8	52.4	160.0	85.9
延べ提供回数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
元年度	739	1,514	1,453	690	243	4,639
30年度	848	1,384	1,414	1,012	263	4,921

29年度	827	1,854	420	1,423	162	4,686
前年度比	87.1	109.4	102.8	68.2	92.4	94.3
29年度比較	89.4	81.7	346.0	48.5	1500	99.0

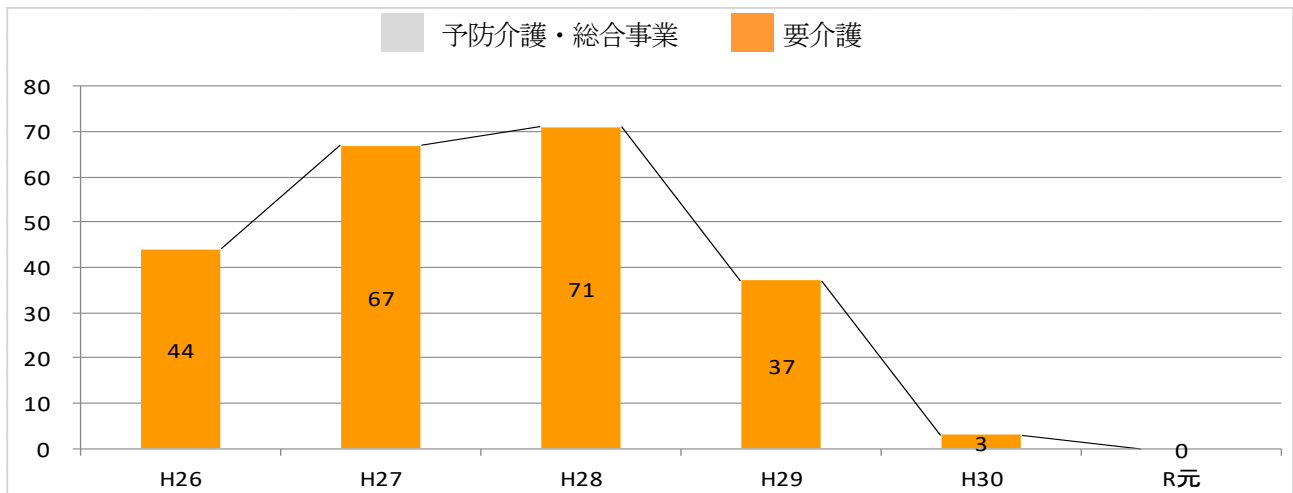
【成果・課題】

- ・昨年度まで毎日訪問支援のあったご利用者が、入所等により訪問がなくなったため前年度との比較割合で減少した。

(3) 訪問入浴介護事業・・・入浴車で在宅に訪問し、入浴支援

職 種 名	瑞 穂 事 業 所	備 考
管理責任者	1名	在宅福祉課長兼務
介護職員	2名	
看護師	2名	デイ看護師1名兼務

※利用状況の推移 (述べ提供回数、単位：回)



■ 予防介護・総合事業訪問入浴・・・30年度利用者なし

■ 訪問入浴介護事業の実績 (介護1～5の利用状況実績)

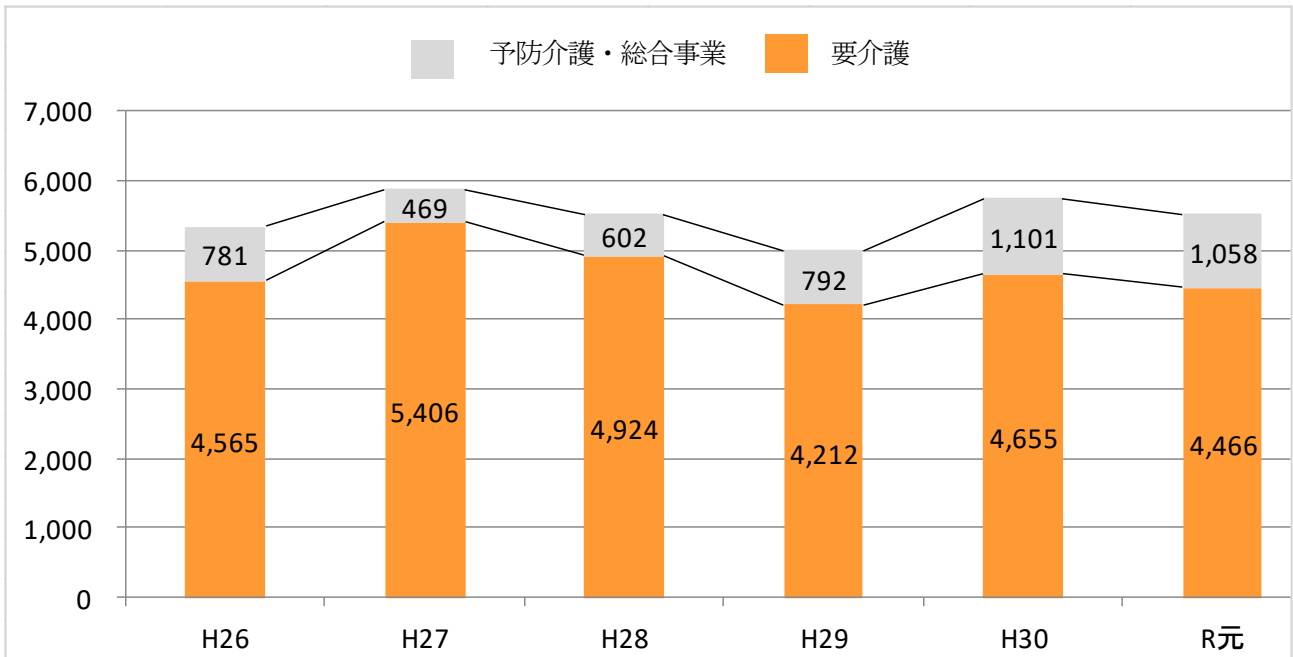
延べ利用者数 (人)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
元年度	0	0	0	0	0	0
30年度	0	0	1	0	0	1
29年度	6	3	0	1	4	14
前年度比較 (%)	■	■	■	■	■	■
29年度比較 (%)	-	-	-	-	-	-
延べ提供回数 (回)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
元年度	0	0	0	0	0	0
30年度	0	0	3	0	0	3
29年度	19	8	0	3	7	37
前年度比較 (%)	■	■	■	■	■	■
29年度比較 (%)	-	-	-	-	-	-

【成果・課題】

- ・事業の採算性及び職員の確保の難しさから理事会及び評議員会でも複数回協議を重ね、令和元年度末で事業を廃止することとなった。

(4) 通所介護事業・・・デイサービスセンターで、入浴・余暇活動等を提供

※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■ 予防通所介護事業の実績（要支援1・2の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	要支援1	要支援2	総合事業	合計
元年度	-	-	159	159
30年度	-	-	174	174
29年度	0	0	130	130
前年度比較（%）	■	■	91.4%	91.4%
29年度比較（%）	-	-	126.2%	126.2%
延べ提供回数（回）	要支援1	要支援2	総合事業	合計
元年度	-	-	1,058	1,058
30年度	-	-	1,101	1,101
29年度	0	0	789	789
前年度比較（%）	■	■	96.1%	96.1%
29年度比較（%）	-	-	134.1%	134.1%

■ 通所介護事業の実績（介護1～5の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
元年度	96	227	103	62	52	540
30年度	137	203	86	92	26	544
29年度	185	156	67	94	26	528
前年度比較（%）	70.1	111.8	119.8	67.4	200.0	99.3
29年度比較（%）	51.9	145.5	153.7	66.0	200.0	102.3
延べ提供回数（回）	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
元年度	785	1,671	888	545	577	4,466
30年度	1,182	1,418	806	935	155	4,496
29年度	1,300	1,381	585	784	163	4,213

前年度比較 (%)	66.4	117.8	110.2	58.3	372.3	99.3
29年度比較 (%)	60.4	123.8	151.8	69.5	354.0	106.7

【成果・課題】

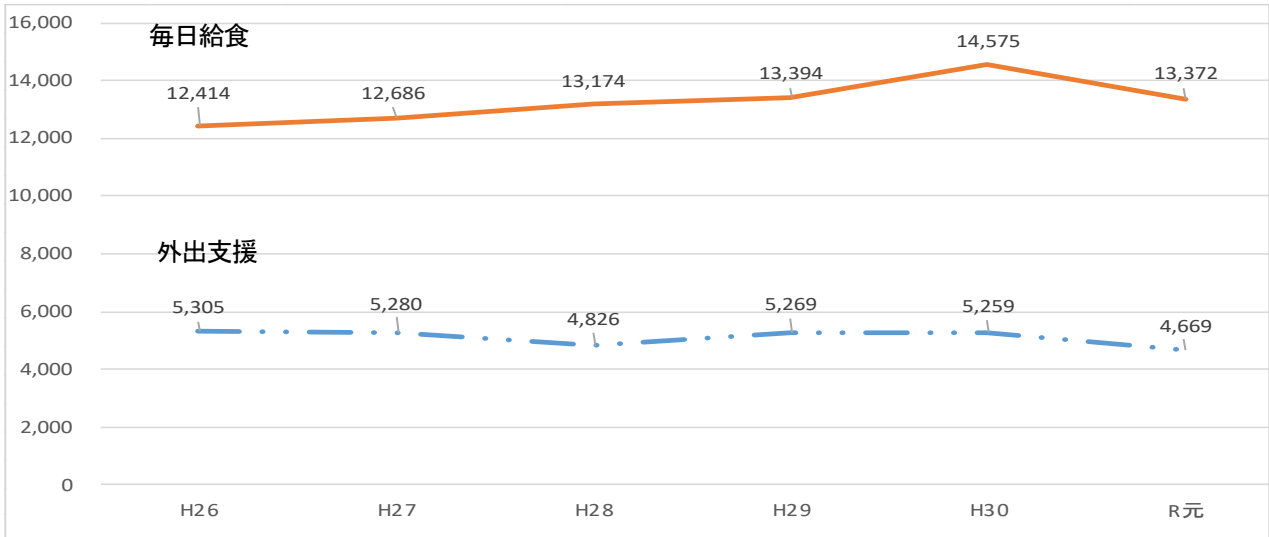
- ・前年度比でほぼ横ばいで推移している。午前中利用の方や午後から利用の方など個人のニーズに寄り添った支援を心がけた。一方で送迎や個別対応などで職員体制が手薄になり体制を整える必要がある。
- ・季節感のある取組が年間をとおして計画的に実施できた。
- ・今年度より縫い物クラブを立ち上げ、裁縫が得意だった利用者を中心に熱心に取り組んでいただけた。
- ・今年度もキッズボランティアや中学校職場体験学習の受け入れなど、町内の児童・生徒との関わりも継続できた。今後もニーズに応じて実施していきたい。
- ・年度末より新型コロナウイルスの感染予防に伴う業務が増大傾向にあり、改めて日常業務の精査や職員体制などの見直しを図る必要がある。

2 高齢者生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

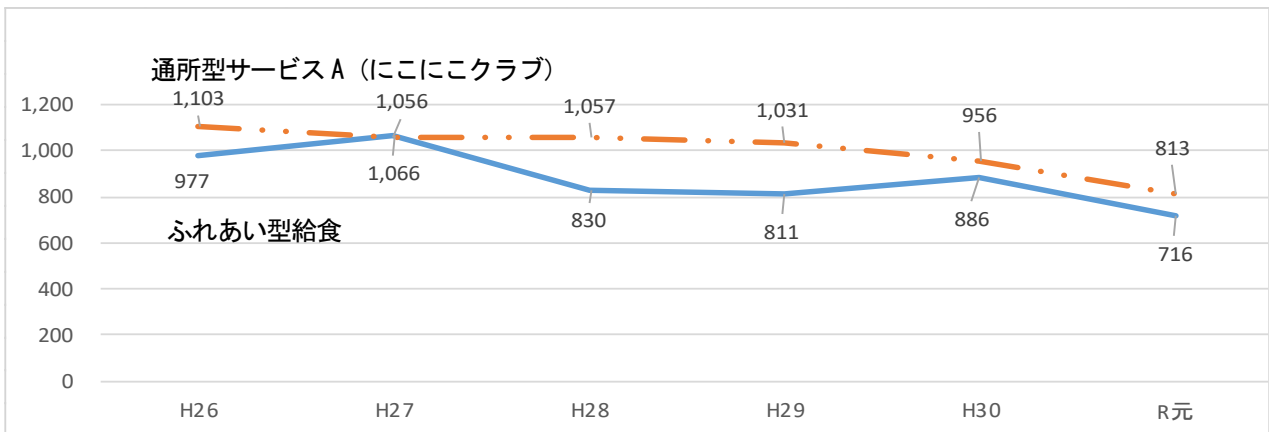
・毎日給食（延べ配食数合計、単位：食）

・外出支援（延べ提供回数合計、単位：回）



・にこにこクラブ（延べ提供回数合計、単位：回）

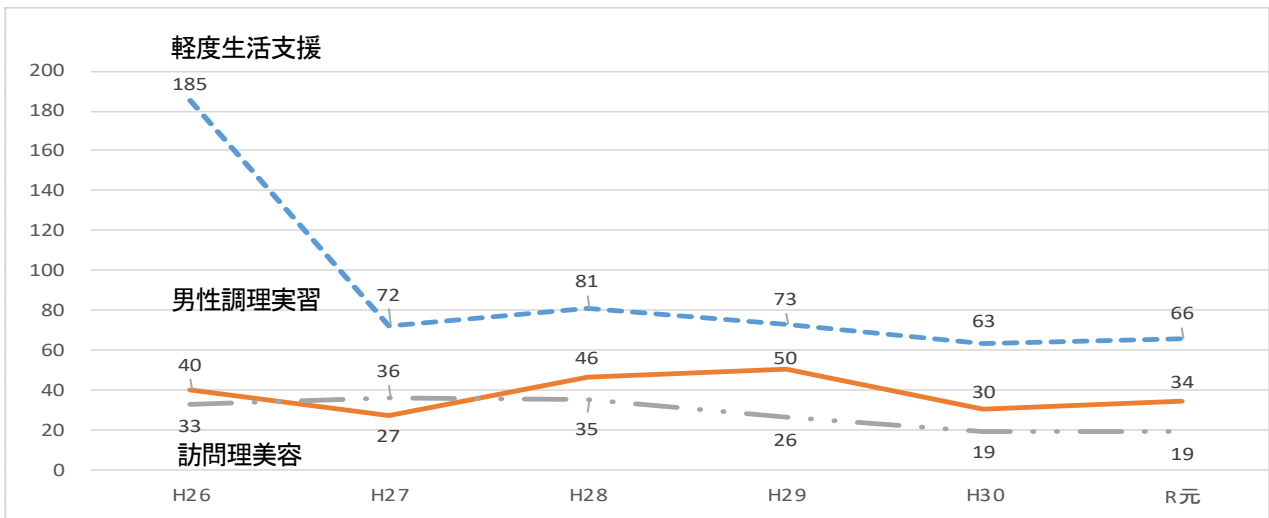
・ふれあい型給食（延べ配食数合計、単位：食）



・男性調理実習（延べ参加人数合計、単位：人）

・訪問理美容（延べ提供回数合計、単位：回）

・軽度生活支援（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 軽度生活支援事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者で、一人ぐらし高齢者・高齢者世帯等、日常生活上の援助が必要な方
- 内容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助
- 提供者：ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
元年度	12	14	0	26
30年度	12	12	0	24
29年度	12	15	0	27
前年度比較 (%)	100.0	116.6	—	108.3
29年度比較 (%)	100.0	93.3	—	96.3
延べ提供回数 (回)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
元年度	50	16	0	66
30年度	50	13	0	63
29年度	52	21	0	73
前年度比較 (%)	100.0	123.1	—	104.8
29年度比較 (%)	100.0	76.2	—	90.4

【成果・課題】

- ・自宅からゴミ出し場が遠くて出しに行けず、軽度生活支援事業を依頼される方が増えてきている。今後、ますます高齢化していく中で、ゴミ出しの問題は増えていくと思われる。軽度生活以外で解決する方法を模索していく必要がある。

(2) 外出支援事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者、または概ね60歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関の利用が困難な方
- 内容：自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物等の送迎
- 提供者：運転介助員、ホームヘルパー

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
元年度	1,422	4,669
30年度	1,505	5,259
29年度	1,497	5,269
前年度比較 (%)	94.5	88.8
29年度比較 (%)	95.0	88.6

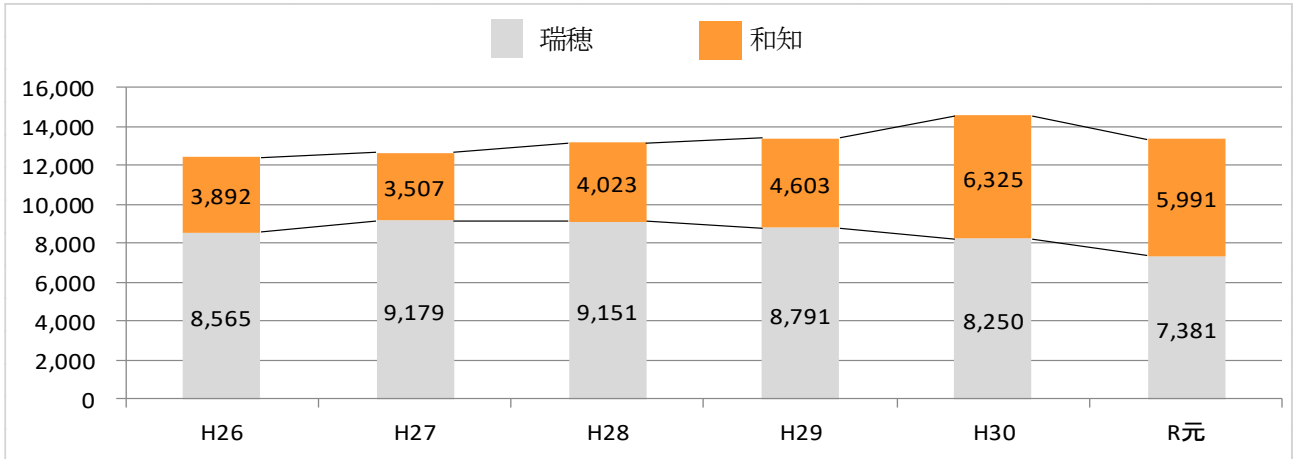
【成果・課題】

- ・最近の特徴として、車椅子対応の方の新規利用が増え、車いす送迎車の調整に苦慮することもある。
- ・免許の返納などにより、自力での通院が困難な高齢者が増加傾向にある。
- ・遠方への通院が増加し、一件あたりの所要時間が長いため、運転手、車の手配が困難になる場合がある。
- ・コロナウイルスの影響もあるのか、3月以降、送迎の依頼が減ってきている。

(3) - 1 食の自立支援事業（毎日給食）

- 対象者：調理が困難な一人暮らし高齢者
- 地区：瑞穂地区、和知地区のみ ※丹波地区は丹波高原荘が実施
- 内容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配
- 利用料：1食 500円（ご飯、おかず）、450円（おかずのみ）

※地区ごとの利用者数の推移（単位：提供配食数）



延べ利用者数（人）	瑞穂	和知	合計
元年度	445	365	810
30年度	490	329	819
29年度	511	223	734
前年度比較（％）	90.8	110.9	98.9
29年度比較（％）	87.1	163.7	110.4
延べ提供食数（食）	瑞穂	和知	合計
元年度	7,381	5,991	13,372
30年度	8,250	6,325	14,575
29年度	8,791	4,603	13,394
前年度比較（％）	89.5	94.7	91.7
29年度比較（％）	83.4	130.2	99.8

(3) - 2 食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

- 対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等（和知地区）
- 内容：調理・配食ボランティアによる月2回実施の「かけはし弁当」
- 利用料：1食 400円

	配食数（食）	調理ボラ数（人）	配食ボラ数（人）
元年度	716	99	298
30年度	886	111	337
29年度	811	118	334
前年度比較（％）	80.8	89.2	88.4
29年度比較（％）	88.3	83.9	89.2

【成果・課題】

- ・新型コロナウイルスの影響で3月中止。
- ・調理ボランティアの入れ替わりは毎年あるが、会員同士で新しい方を勧誘しボランティア数は横ばいで推移している。配食ボランティアは高齢化で運転に不安という方も増えてきている。

- ・配食給食に添える帯絵書き、塗り絵、名前書き等、それぞれ個人活動もあり多くの方に携わっていただいている。



(3) - 3 介護予防普及啓発事業<男性調理実習>

■対象者：町内在住の男性

■内 容：高齢者が主体的に参加でき自立支援につながるサービス提供を目的に、食生活改善推進員協議会「くるみの会」の協力を得て男性調理実習を実施する。

■利用料：1食 400円

■場所：丹波中央公民館（1回目）
 瑞穂保健福祉センター 調理室（3回目）
 和知ふれあいセンター 調理室（2回目/4回目）

		開催日	場所	参加者数	くるみ会員
令和 元年度 (2019)	第1回	6月28日	丹波	5名	4名
	第2回	9月19日	和知	12名	5名
	第3回	11月19日	瑞穂	5名	4名
	第4回	2月10日	和知	12名	6名
合 計				34名	19名

【成果・課題】

- ・参加者より、「塩分控えめのおかずにも慣れてきた。ゆずや七味で味に変化が出て食べやすい。」との声もあり、塩を入れなくてもアレンジ出来るという意識を持ってもらえている。
- ・若い世代（20代）の新しい参加者があり、調理に興味を持ってもらえた。
- ・実習会だけでなく、家庭でも作ってみようとの声があった。
- ・参加者同士の交流、次回への期待などチームのような良い雰囲気がある。
- ・平成30年度から全町開催としたが、丹波・瑞穂の参加者が少ない。
- ・瑞穂、丹波でも参加者が増えるよう広報していきたい。



(4) 訪問理美容事業

- 対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等
- 内 容：社協に登録された理美容師が訪問し理美容を行う
- 利用料：1回 1,000円

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
元年度	10	6	3	19
30年度	10	6	3	19
29年度	15	7	4	26
前年度比較 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
29年度比較 (%)	66.6	85.7	75.0	73.1

【成果・課題】

- ・丹波、瑞穂地区では新規利用はなく、和知地区は新規利用1名あったが、実際には利用されていない状況であった。
- ・ショートステイ利用時やデイサービス等で理美容が行えている人が多く、今後の新規利用者は少ないと考えられる。

(5) 通所型サービスA事業（にこにこクラブ）

- 対象者：総合事業対象者の高齢者。
- 内 容：5班体制で、月2回、健康観察と体操を取り入れ、介護予防や健康維持を目的に実施
- 指導者：支援スタッフ…5名、看護師…2名、合計7名
- 会 場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

月	開催日	参加者数	月	開催日	参加者数
4月	16、18、25	46	10月	1、3、10、15、17、24	83
5月	7、9、16、21、23、30	85	11月	5、7、14、19、21、28	91
6月	4、6、13、18、20、27	76	12月	3、5、17、19、24	94
7月	2、4、11、16、18、25	79	1月	21、23、30	45
8月	20、22、29	45	2月	4、6、13、18、20、27	79
9月	3、5、12、17、19、26	90	3月	※新型コロナウイルスの感染予防のため中止	0
合 計					813
30年度実績					956
前年度比 (%)					85

【成果・課題】

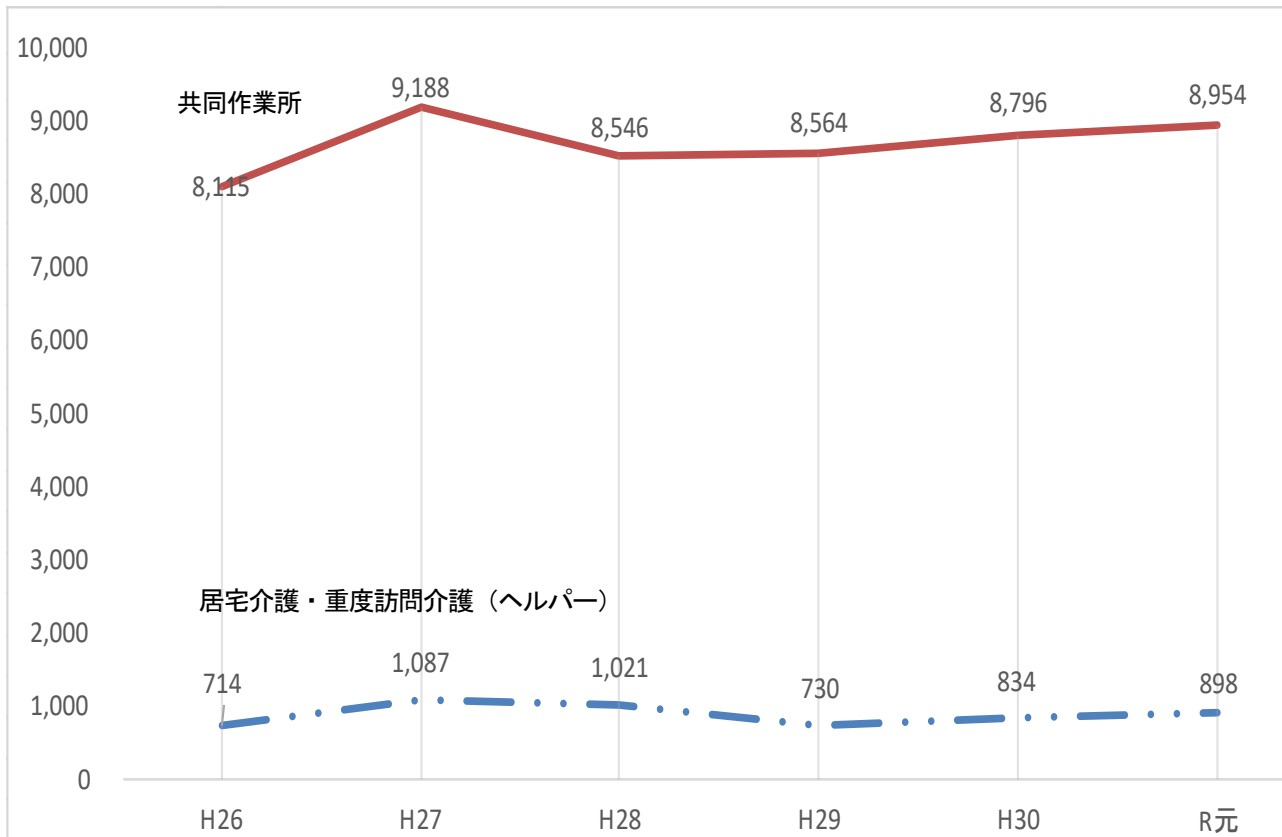
- ・長く通う利用者も多くなり、身体状況が幅広く予防の域を超えてきている。緩和型通所サービス事業（介護予防）としての役割をどのように果たしていくべきか引き続き検討していく。



【障害者福祉事業】

1 障害者総合支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 居宅介護・重度訪問介護事業

■ホームヘルパーによる在宅支援活動

延べ利用者数 (人)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
元年度	12	24	40	0	12	0	88
30 年度	12	23	39	0	0	12	86
29 年度	12	24	50	12	12	12	122
前年度比較	100.0	104.3	102.6	0	0.0	0	102.3
29 年度比較	100.0	100.0	80.0	-	100.0	-	72.1
延べ提供回数 (回)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
元年度	137	189	134	0	438	0	898
30 年度	137	181	137	0	0	379	834
29 年度	143	135	130	0	0	322	730
前年度比較	100.0	104.4	97.8	0	0	0.0	107.7
29 年度比較	95.8	140.0	103.1	-	-	0.0	123.0

【成果・課題】

- ・利用者数は横ばいだが、ご利用者の家族が高齢となってきたため、訪問の回数が増加傾向にある。

(2) 障害者共同作業所運営事業

障がいのある方の自立を目指し、生活能力向上の支援（生活介護）や就労訓練（就労継続支援B型）を行う。

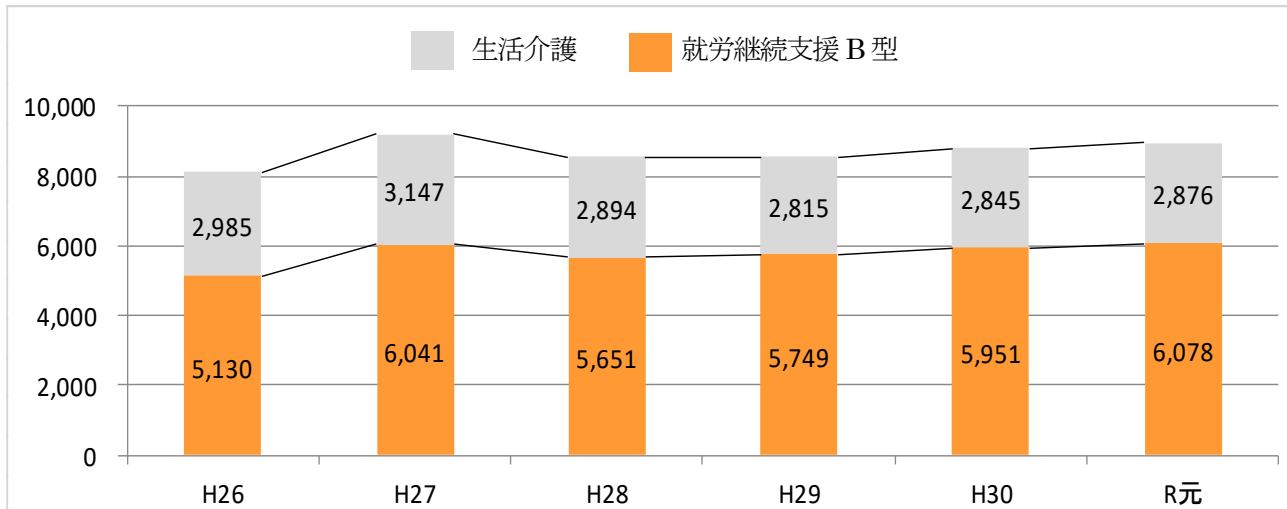
【生活介護】

創作的活動や生産的活動の機会を提供し身体的機能や生活能力向上のための援助を行う。

【就労継続支援B型】

一般就労に向けて必要な知識や能力の向上を目的に、生産活動やその他の活動を通して本人に合った訓練や支援を行う。

※利用実績の推移（単位：提供回数）



①利用実績

延べ利用者数 (人)	生活介護	就労継続支援B型	合計
元年度	2,876	6,078	8,954
30年度	2,845	5,951	8,796
29年度	2,815	5,749	8,564
前年度比較 (%)	101.1	102.1	101.8
29年度比較 (%)	102.2	105.7	104.6

②販売会（自主製品の販売を通して啓発や工賃アップにつなげる）

販売会名	開催日	内容
スポーツレクリエーションフェスティバル	5/26 (日)	丹波自然運動公園 保護者 2名、職員 1名
福祉事業所説明会	7/4 (水)	南丹市国際交流会館 職員 1名、利用者 2名
山彦夏まつり	7/14 (日)	瑞穂やまびこ苑 職員 2名
グリーンハイツ夏祭り	7/27 (土)	グリーンハイツ商店街 職員 2名
和知ふるさとまつり	8/24 (土)	和知駅前 職員 2名
福祉まつり	9/29 (土)	職員 3名、利用者 1名
和知ふれあい祭り	10/19 (土)	道の駅「和」 職員 2名
ぬくもり京都丹波 2019	10/26 (土)	桂川イオンにて南丹ブロック事業所参加
丹波公園まつり	11/3 (日)	丹波自然運動公園 職員 2名
上和知中部村祭り	11/4 (月)	わち地域交流拠点施設芝生広場 職員 2名
三ノ宮ふれあいまつり	11/10 (日)	三ノ宮集落センター周辺 職員 2名

③研修会

○作業所職員全体研修会・・・3回

職員全体会議	開催日	内 容
第1回職員全体会議	4/2 (月)	事業計画、職務分担
第2回職員全体会議	8/23 (金)	事例検討会 (グループワーク)
第3回職員全体会議	12/6 (金)	事例検討会 (グループワーク)

○生活介護事業所見学 職員6名 (生活介護の取り組みを学ぶ)

8/23 (金) …NP0 法人スウィング (京都市)

9/ 9 (月) … (福) 障害者支援施設テンダーハウス (京都市)

○製品に関する研修・・・・・・2回

○南丹圏域ネットワーク・・・・7回

○外部研修・・・・・・・・・7回

研修会名	開催日	場 所
メンタルヘルス研修	6/7 (金)	福知山市民プラザ 1名
キャリアアップ研修 (初任者)	6/14 (金)、7/10 (水)、 8/30 (金)	ハートピア京都 京都テルサ 2名
キャリアアップ研修 (チームリーダー)	7/12 (金)、8/9 (火)、 9/18 (水)	京都テルサ コープイン京都 1名
キャリアアップ研修 (中堅職員)	8/2 (金)、9/5 (木)、 10/18 (金)	京都テルサ 1名
精神保健福祉研修 I (基礎)	9/12 (木)	勤労者福祉会館 1名
キャリアアップ研修 (初任者)	10/4 (金)、10/31 (木)、 12/3 (火)	ハートピア京都 京都テルサ 1名
アサーティブ研修 ※相手の状況・気持ちを尊重しながら自 分の主張を正直に伝える手法	1/17 (金)	コープイン京都 1名

④避難訓練 (各支所年1~2回実施)

第1回避難訓練 (火事を想定) 丹波本所 12/25 (水)、瑞穂支所 12/17 (火)、和知支所 12/26 (木)

第2回避難訓練 (地震を想定) 和知支所 3/19 (木)

⑤地域交流 (学校・地域の行事・ボランティア団体との交流を積極的に行う)

交流団体	開催日	内 容
スポールレクリエーション フェスティバル	5/26 (日)	京都府丹波自然運動公園にてスポーツ 交流
訪問ボランティアえがお	8/26 (月)	音楽レクリエーション
瑞穂中学校	10/28 (月) ~30 (水)	職場体験学習 2名受け入れ
蒲生野中学校	11/6 (水) ~8 (金)	職場体験学習 2名受け入れ
竹野小学校	11/22 (金)	作業交流 5年生 3名
和知小学校	1/10 (金)	職員1名事前学習のため小学校へ
和知小学校	1/17 (金)	作業交流 5年生 14名
七八会	1/31 (金)	作業交流の後、餅つき・会食
丹波ひかり小学校	2/18 (火)、2/19 (水)	作業交流 6年生各 18名

⑥職場実習

就労を目指している方の職場実習

実習先	開催日	内容
丹波高原荘	5/27. 29. 6/3. 5. 7	5日間 1名
綾部ニット	3/23～4月末	月～水曜日 4時間

⑦健康管理

- ・健康診断受診率はほぼ100%
- ・京都府歯科医師会の歯科検診、今年度も実施

【成果・課題】

- ・職員の働きかけにより健康診断に対する意識が高まり受診される方が増え、ほぼ全員が受けられている。
- ・生活介護と就労継続支援B型との2つの事業を実施し多機能型として事業を展開しているため、ご利用者様ひとり一人が安定して過ごせる環境づくりが難しくなっている。今年度は生活介護の新たな取り組みを始めた。



<職員研修>



<自主製品販売>



<音楽レク>

2 特定障害者指定相談支援事業（相談支援センターにじ）

■目的：障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、保健、医療、福祉、就労、教育等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、一人ひとりの意向、適正、特性等に応じ、適切かつ効果的な相談支援を行う。

■内容：ア 相談

- ・生活全般に関する相談や福祉サービス利用の意向、解決すべき課題の整理

イ 関係機関との連絡調整

- ・利用者が複数のサービスを利用する際、共通した支援目標を示すことで同じ方向性に向いたサービスの提供を図る
- ・利用者に関わる機関の役割分担やネットワークの強化

ウ サービス利用計画の作成

- ・利用者のサービス利用計画を作成する上で生活に対する意向を確認し、総合的な支援の方針やサービスの目的の明確化を図る
- ・サービスの提供が本人の意向に沿ったものとなっているか、また、新たな目標や身体状態の変化、計画の達成、サービスの種類、内容、支給量を定期的に確認する

■実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約	1	0	0	0	5	1	1	0	0	0	0	1	9
計画相談	1	1	1	1	5	1	3	2	2	2	3	2	24
モニタリング	4	0	9	3	5	4	1	0	11	4	4	6	51

【成果・課題】

- 京丹波町共同作業所の利用者を中心に計画相談を実施している。それ以外の地域住民の方との契約が少しずつ増えてきている中、社会資源が少ない為に町外の事業所の利用を余儀なくされる方も少なくない。今後も各関係機関との密接な連携が必要とされている。

3 ひきこもり等居場所づくり支援事業（にじの家）…令和元年度新規事業

- 目的：ひきこもり状態の方やその家族が気軽に利用できる居場所を開設し、当事者等からの相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図り、地域における自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■内容

(1) 居場所「にじの家」の開設・運営

当事者が自宅以外で過ごせる居場所として「にじの家」を開設する。当事者やその家族の社会的孤立を解消し、自宅以外で落ち着いて過ごせる空間としての「居場所」を運営する。また、必要に応じて専門機関と連携するなどの相談窓口機能も担う。

(2) 「当事者の会」と「家族の会」を分けることで、それぞれのニーズを汲み取る

ニーズに合わせた柔軟な活動内容提供により、利用しやすい環境にする。創作活動や家族交流会、中間的就労支援等、当事者の希望に応じながら柔軟に対応していく。

(3) 自宅訪問によるアプローチ

関係者や地域住民、当事者家族に、居場所「にじの家」の活動内容の周知、浸透の促進をはかる。

■利用状況

※実施回数（参加人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
当事者会	1 (1)	1 (1)	1 (3)	1 (3)	1 (4)	1 (3)	2 (6)	2 (2)	1 (5)	1 (3)	1 (5)
家族の会	—	1 (2)	1 (2)	1 (3)	1 (2)	1 (4)	1 (3)	1 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (4)

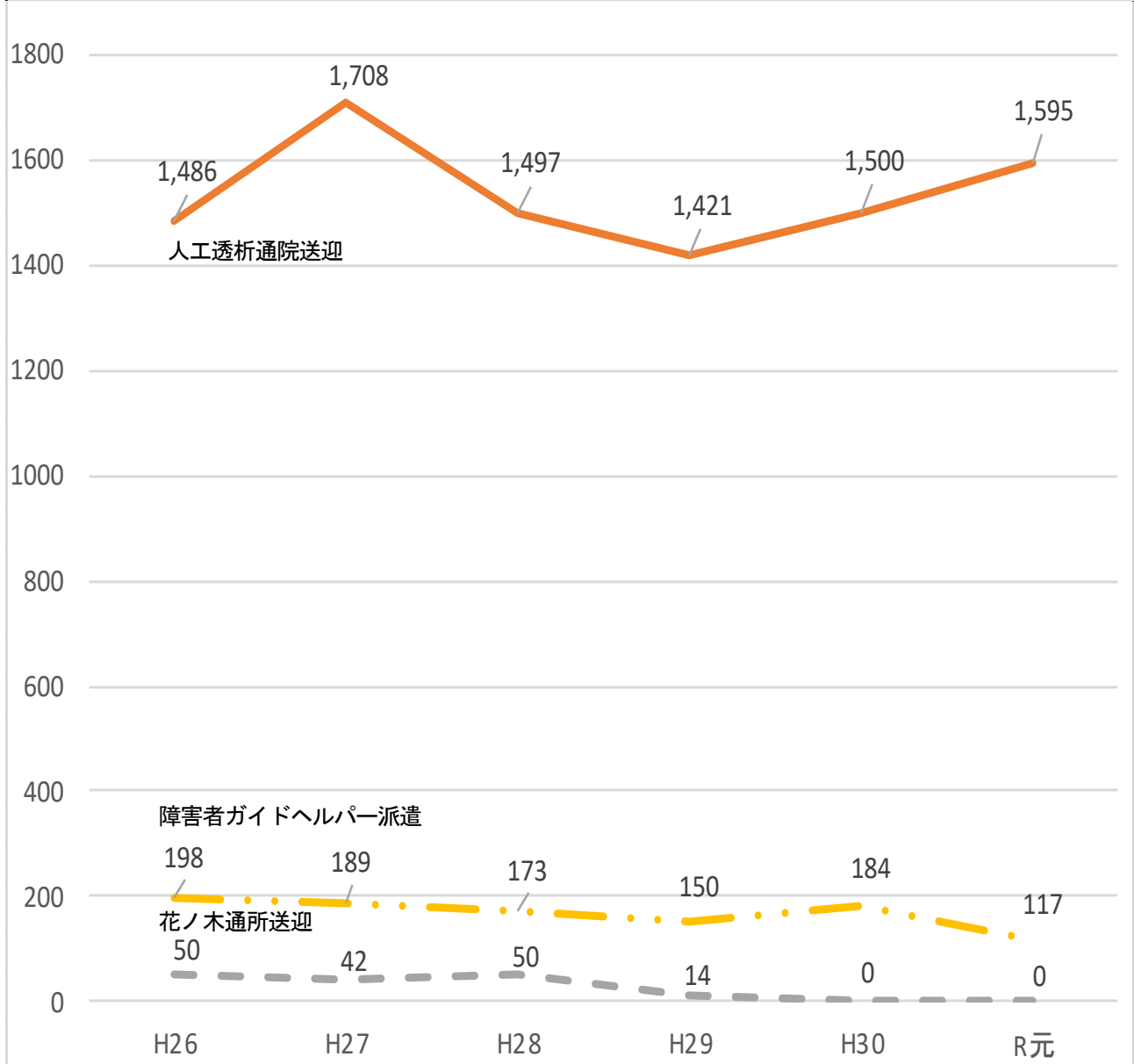
【方向性・課題】

- 情報収集によって把握している引きこもり状態の方で、アプローチに至っていない方がまだまだ沢山いる。状況に応じた積極的な関わりの試みも検討していく。利用者のニーズに合わせ、開所日の日数を増やしていくことも求められている。また、スタッフの知識と対応力の向上も求められ、良好な関係性を築いていく上で、研修の機会や、引きこもり支援関係者との繋がりによる意識の向上も必要である。

2 障害者等生活支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数、単位：回）

	H26	H27	H28	H29	H30	R元
透析	1,486	1,708	1,497	1,421	1,500	1,595
花ノ木	50	42	50	14	0	0
ガイドヘルパー	198	189	173	150	184	117



(1) 重度心身障害児・者通院通所事業

①人工透析通院送迎

- 対象者：人工透析患者
- 内 容：人工透析のための通院送迎
- 提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	瑞穂発 (R9)	和知発 (R27)	合 計
元年度	126	59	185
30年度	136	50	186
29年度	131	52	183
前年度比較 (%)	92.6	118.0	99.5
29年度比較 (%)	96.2	113.5	101.1
延べ提供回数 (回)	瑞穂発 (R9)	和知発 (R27)	合 計
元年度	929	666	1,595
30年度	900	600	1,500
29年度	783	638	1,421
前年度比較 (%)	103.2	111.0	106.3
29年度比較 (%)	118.6	105.4	112.2

【成果・課題】

- ・利用者の高齢化や重症化から介助を要する機会が増えてきている。曜日や時間帯によっては介助員の確保が難しい状況にある。

②花ノ木通所送迎

- 対象者：重度心身障害者で療育通所利用者
- 内 容：花ノ木地域療育施設通所送迎
- 提供者：社協外出支援運転手

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
元年度	0	0
30年度	0	0
29年度	4	14
前年度比較 (%)	■	■
29年度比較 (%)	-	-

※今年度利用無し

(2) 障害者ガイドヘルパー派遣事業

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
元年度	45	117
30年度	71	184
29年度	61	150
前年度比較 (%)	63.4	63.6
29年度比較 (%)	73.8	78.0

【児童福祉事業】

1 ファミリー・サポート・センター事業

① 各会員登録状況（3月末）

会 員 名	R元年度末	新規登録者数	退会者数
依頼会員（おねがい会員）	61	8	3
提供会員（あずかり会員）	46	4	1
両方会員	20	1	1

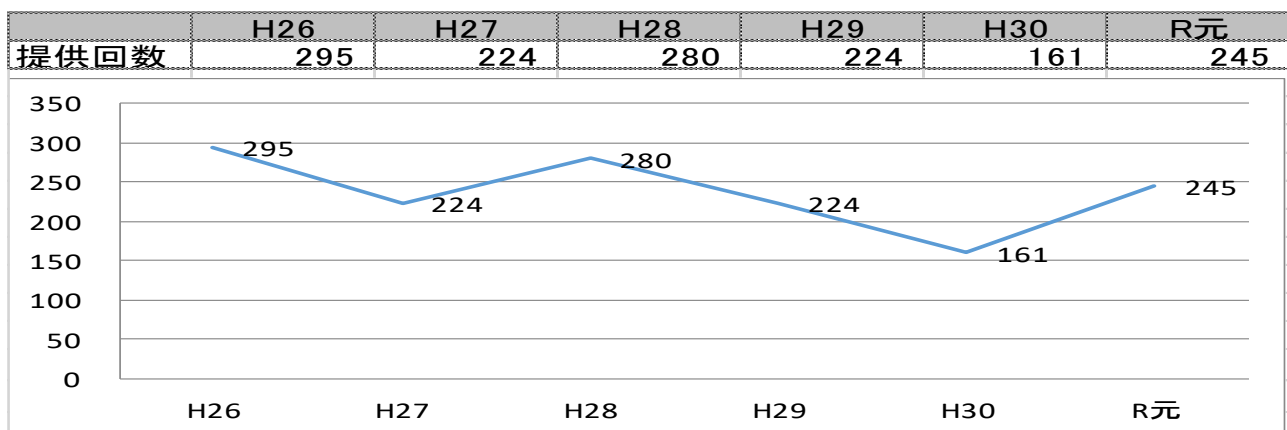
② 研修会交流会の開催・・・あずかり会員養成研修会、会員交流会

項 目	日時・場所	内 容
会員交流会	7/13（土） 健康管理センター	「子育て応援広場」 おさがり品のリサイクル、工作、絵本の読み聞かせ
会員交流会	11/9（土） 健康管理センター	「子育て応援広場」 おさがり品のリサイクル、工作、食あそび、絵本の読み聞かせ
提供会員養成講習会	12/10（水） 12/11（木） 9：00～16：00 健康管理センター	「子どもの権利（人権）について」 講師/こども未来課 樹山 敬子 氏 「京丹波町の現状と子育て支援について」 講師/こども未来課 四方 妃佐子 氏 「受講生交流」 「活動体験談」 報告/提供会員 「救急時対策と応急措置」 講師/赤十字幼児安全指導員 村岡 和恵 氏 「子どもの安全と病気の世話」 講師/京丹波町保健福祉課 三田 杏奈 氏 「あずかり会員として活動するために」 説明/京丹波町社会福祉協議会 谷山 啓子 「子どもの社会性と遊びについて」 講師/和知エンジェル 下村 秀美 氏 「子どもの発達状況に応じた関わり方」 講師/こども未来課 石原 詩子 氏

③ 活動実績・・・調整状況

事 業 名	回 数	内 容
マッチング	16	習い事への送迎、保護者の用事時の預かり、保護者就労時の預かり、保育施設前後の送迎と預かり
活動実績	245	習い事への送迎、保護者の用事時の預かり、保護者就労時の預かり、学童の迎えと学童後の預かり
訪問・面談	15	会員宅訪問、相談対応

※活動実績の推移（延べ提供回数、単位：回）



【成果・課題】

- ・あずかり会員養成講習会は、新規3名（提供会員2名、両方会員1名）、追加受講1名の計4名の受講となり、救命講習については、今回から年に一度の受講を案内したところ6名の再受講申し込みがあり、計10名の受講となった。
- ・交流会については、子育て世代を応援する「子育て応援広場」を7月と11月に開催した。町内の保育所、支援センター、幼稚園、小学校にチラシを配布した他、会員の呼びかけにより、多くの方に参加いただけた。子育て応援広場は、普段活動のない会員にも協力いただくことで、子育て世代との交流を深める良い機会であり今後も継続していきたい。

2 子どもの居場所づくり

○下山小学校区『みんなのひみつきち』

社会問題となっている子どもの貧困や働き方の多様化、また核家族化により子どもを取り巻く環境が大きく変容している現代において、地域の大人との関わりや、さまざまな体験を通して心の成長（人格形成）を促し、また相談できる関係づくりなどを目的に実施。

開催日 毎月第4水曜日 午後3時30分～5時30分（※4月～10月まで）

8月、12月長期休み期間 午前9時～午後12時30分

（単位：人）

開催日	幼児	児童	保護者	ボランティア	合計
4/24	0	15	1	4	20
5/29	0	16	0	2	18
6/26	0	23	0	1	24
8/21	1	10	0	7	18
9/25	1	16	3	0	20
12/24	0	17	1	7	25

※ 延べ 6回開催 115人参加

【成果・課題】

- ・ひみつきちの取り組みが定着し、友達同士で教え合いながら宿題を済ませ遊ぶ習慣が付いている。
- ・もう少し保護者や地域住民を巻き込んだ取り組みに転換していければと考えている。



【地域福祉推進事業】

1 啓発活動の展開

(1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行

NO	発行日	内容等
47号	平成31年4月15日	社協職員配置図、福祉講演会、日赤活動資金ご協力のお願い、困りごとや相談はありませんか？、共同募金じぶんの町を良くする活動の募集、京丹波町災害ボランティアセンターの取り組み、キッズボラ・冬場のオレンジ勉強会、作業所NEWS、住民寄り添い型助け合い活動かがやき、ファミリー・サポート・センター、寄付お礼、相談事業のご案内
48号	令和元年6月13日	令和元年度事業計画・予算、社協事業紹介、社協会費のお願い、地域福祉活動計画策定に向けて、災害ボランティアセンター、ファミリー・サポート・センターよりお知らせ、京丹波町生活支援体制整備事業、作業所NEWS、寄付お礼
49号	令和元年9月12日	新会長挨拶、新役員・新評議員紹介、共同募金・年末買い物支援助成事業、平成30年度事業報告・決算報告、京丹波町災害ボランティアセンター、サロン×国際交流、社会福祉体験学習、在宅福祉課よりお知らせ、作業所NEWS、寄付お礼
50号	令和2年1月17日発行	社協会長新春メッセージ、京都府福祉大会、社協会費ご協力のお礼、ほほえみ創刊50号特集、在宅福祉課よりお知らせ、共同募金ご協力のお礼、年末買い物支援、年末お掃除応援隊、作業所NEWS、ファミリー・サポート・センターよりお知らせ、寄付お礼

【成果・課題】

- ・今年度1月号が創刊50号の節目を迎え、これまで取り上げた記事に登場した地域住民へのインタビューや、歴代の社協会長・事務局長にメッセージをいただくなど、創刊50号記念特集を行った。



(2) facebook（フェイスブック）での情報発信

京丹波町社協の事業に関する情報や町内の地域福祉活動の取り組み等について、迅速に情報提供することを目的にfacebook（フェイスブック）による情報発信を行う。

① 投稿実績 87回

(3)「2019福祉まつり」の開催

社協事業やボランティア活動を紹介し、住民のみなさんに福祉を身近に感じてもらう機会として開催しました。今回は、記念講演として日本笑い学会の小池喜四雄氏より、「“笑” 涯現役 ～笑いは百歳の長センテナリアン（百寿者）に学ぶ」と題し、日々の生活や健康に笑いがどのように影響を与えるかについて講演いただきました。

【日時】 令和元年9月29日（日）午後1時30分～午後3時30分

【場所】 山村開発センターみずほ

【内容】 ●オープニング

舞踊 瑞舟会

●ボランティア功労者表彰

・ボランティア活動功労者（個人：28名、団体：1団体）

●福祉講演会（記念講演）

・テーマ「“笑” 涯現役 ～笑いは百歳の長センテナリアン（百寿者）に学ぶ」

講師：小池 喜四雄 氏（日本笑い学会）

●社協活動・ボランティア活動の紹介パネル展示（活動紹介パネルの展示）

●丹波桜梅園・京丹波町共同作業所自主製品販売

●保健福祉課健康コーナー（乳がん検診啓発、塩分控えめレシピ紹介等）

【参加】 来場者 156名 被表彰者 15名 計 171名



▲講師の小池喜四雄氏



▲瑞舟会のみなさんには、オープニングに舞踊を披露いただき、まつりを盛り上げていただきました。



▲長年のボランティア活動に対して、社協会長から功労者表彰を授与しました。



▲人生に笑いがいかに大切か、資料を交えて詳しく講演いただきました。



▲ボランティア活動のパネル展示も行い、多くの方に活動を知っていただきました。

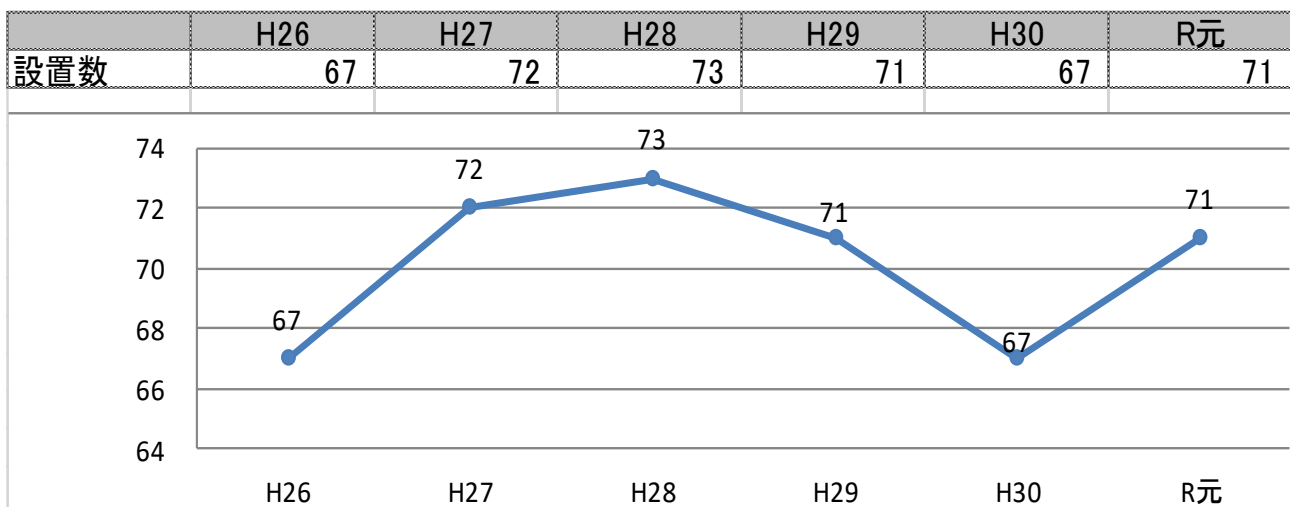
2 地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切に活動の展開

(1) ふれあいいいききサロン活動の展開

① ふれあいいいききサロン各地区の設置状況

丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
(令和元年度実績) 33サロン 障害者サロン 1 広域サロン 1を含む	(令和元年度実績) 27サロン 広域サロン 1を含む	(令和元年度実績) 11サロン 広域サロン 1を含む	(令和元年度実績) 71サロン
(平成30年度実績) 30サロン 障害者サロン 1 広域サロン 1を含む	(平成30年度実績) 27サロン 広域サロン 1を含む	(平成30年度実績) 10サロン 広域サロン 1を含む	(平成30年度実績) 67サロン

※サロン設置数の推移



②研修・交流活動

※新型コロナウイルス拡大防止のため中止

【成果・課題】

- ・各地区サロン活動の実践発表を予定していたが、新型コロナ拡大防止のため中止となった。来年度実施していきたい。
- ・保健福祉課の冬場の健康相談を活用しての集まりを企画するサロンが増えてきた。
- ・出前講座は健康や運動といったテーマが人気。
- ・ふれあい調理実習会が終了した事で集まることの大切さを再認識され、サロンが立ち上がった地区があった。出来る範囲の中で無理なく活動・集まりを楽しんでおられる。



(2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
活動回数	78	33	79	190
延べ訪問回数	67	22	67	221
訪問対象件数	7	17	9	33
サークル員数	7	6	9	22

【成果・課題】

- ・地域ケア会議で該当者が挙がってくる事があり、活動に結び付いたケースがあった。
- ・訪問時不在であっても不在から気づきが生まれたり、利用者の状況報告を受ける事で次のサービスへつなげ、重要な役割も果たしている。

(3) 京丹波町見守りネットワーク事業（絆ネット支援事業）・・・京丹波町委託事業

地域住民や事業者の方々が、日常生活や業務の中で異変や困りごとに気づいた時に、社協へ連絡していただくことで関係者が状況確認を行い、より多くの目で地域をさりげなく見守る活動を行う。

実施状況

■京丹波町見守りネットワーク事業協力事業所登録数

登録事業所	60事業所／3月末現在
通報件数	4件

【成果・課題】

- ・今年度に入り、新しく5事業所に登録していただいた。
- ・通報件数も4件あり、金融機関、町内事業所などから入った。主には、通帳の紛失を繰り返し、窓口に来られる。高額を引き出したことを忘れ何度も引出そうとされているなど認知症を疑う通報であった。行政や他機関とも連携を取ながら見守り活動を継続していきたい。

3 住民参加の地域福祉推進事業

(1) 社会福祉体験学習事業の実施

夏休みの期間を活用し、町内在住の中学生・高校生を対象に生徒の自主的な参加のもと、3日間福祉施設等での体験を通じて福祉について学びを深める。

開催日	内容	平30	令元	比較
8月7・8・9日	みずほ保育所（中学生）	2名	2名	0
8月6・7・8日	上豊田保育所（高校生）	1名	1名	0
8月17・18・19・20日	丹波高原荘（高校生）	0	2名	+2
	上豊田保育所（中学生）	2名	0	-1
	わちエンジェル（中学生）	1名	0	-1
	わちエンジェル（高校生）	1名	0	-1
	デイサービスセンターほほえみ（高校生）	1名	0	-1
	京丹波町社会福祉協議会（中学生）	1名	0	-1
中学生参加者合計		6名	2名	-4
高校生参加者合計		3名	3名	0
参加者合計		9名	5名	-4

【成果・課題】

- それぞれの参加者が進路などを考えていく上で、貴重な経験になっていると感じる。また、キッズボランティアや社会福祉体験学習に参加してくれた生徒がその後ボランティアとしてデイサービスセンターで自主的に活動してくれたりしている。今後も継続して実施していきたい。
- 参加生徒（中学生）の夏休みの行事やクラブ活動、学習予定などが多くあり、受け入れ事業所に日程を調整してもらうのが難しいと感じることもある。



(2) デイサービスキッズボランティア体験学習の実施

中高生の福祉体験学習を実施する中で、子どもたちの福祉離れを感じることもあり、小学生から福祉に触れ合うきっかけ作りの場として実施しました。

①丹波高原荘デイセンター

期間 令和元年7月25日(木) 7月31日(水) 8月9日(金) 8月19日(月)

時間 午後2時00分～午後4時00分

対象 町内小学校4年生～6年生、町内中学生1年生～3年生

【参加者】丹波ひかり小学校…3名・竹野小学校1名・蒲生野中学校1名 延べ人数 5名

②デイサービスセンター ほほえみ

期間 令和元年8月5日(木)～8月10日(土)

時間 午後1時30分～午後4時30分

対象 町内小学校4年生～6年生、町内中学生1年生～3年生

【参加者】丹波ひかり小学校…4名・瑞穂小学校4名・和知中学校1名・園部附属中学校1名

延べ人数 21名

※春休みのキッズボランティアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

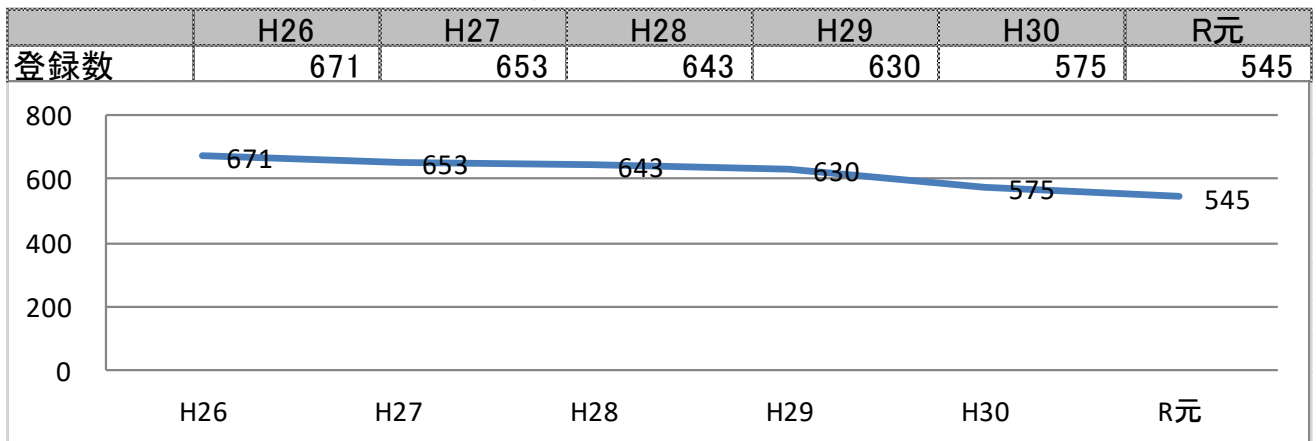


【ボランティア振興事業】

1 ボランティアバンク登録状況

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
丹波	男	7	0	2	2	10	11	32
	女	10	6	7	14	60	113	210
	計	17	6	9	16	70	124	242
	30年	15	4	11	24	81	149	284
瑞穂	男	1	1	1	1	4	12	20
	女	3	0	3	7	50	69	132
	計	4	1	4	8	54	81	152
	30年	4	1	2	10	59	80	156
和知	男	0	0	0	0	1	15	16
	女	0	0	0	9	31	95	135
	計	0	0	0	9	32	110	151
	30年	0	0	2	8	44	81	135
合計		21	7	13	33	156	315	545
30年度		19	5	15	42	184	310	575
比較 (%)		110.5	140.0	86.7	78.6	84.8	101.6	94.8

※ボランティアバンク登録者数の推移 (単位：人)



2 ボランティア活動状況報告

(1) ボランティアグループ活動報告

①丹波地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」	43回	146名
2	朗読ボランティア「ともしび」	14回	75名
3	モンキーズ&ハッピーサークル	7回	53名
4	演芸ボランティア「民謡みやび会」	6回	84名
5	演芸ボランティア「瑞舟会」	53回	159名
6	演芸ボランティア「苑の会」	6回	20名
7	演芸ボランティア「すみれ会」	4回	20名
8	お誕生カードボランティア「すずらん」	2回	7名
9	絵手紙ボランティア	12回	55名

10	くらしの応援ボランティア「ひらめき会」	7回	54名
11	子育てボランティア「さくらんぼ」	10回	134名
12	保育ボランティア	10回	11名
13	美容ボランティア「愛（めぐみ）の会」	9回	45名
14	竹野ほほえみの会	61回	369名
15	蒲生ボランティアグループ	15回	112名
16	豊田あじさいの会	25回	164名
17	グリーンハイツすみれ会	10回	64名
18	グリーンハイツなごみ会	10回	40名
19	富田萩の会	9回	98名
20	傾聴ボランティア「うさぎの耳」	68回	136名
21	アロハフラピカケ	39回	585名
22	遊び広場もこもこ	20回	5名
23	和太鼓「えん」	60回	1,183名
24	和太鼓「結輪」	58回	205名
25	手話サークル「いちょう」	10回	45名
丹波支所活動計（イ）		568回	3,869名

②瑞穂地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	収集ボランティア「めぐみ」	6回	25名
2	要約筆記ボランティア「ささやき」	29回	62名
3	朗読ボランティア「あかり」	12回	54名
4	デイサービス介助ボランティア「あじさい」	370回	381名
5	暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」	16回	60名
6	暮らしの応援ボラ「ダイナミックス」	16回	82名
7	押し花ボランティア「花かご」	11回	44名
8	配食ボランティア	254回	487名
9	傾聴ボランティア「なかよし会」	33回	95名
10	手話サークル「ありんこ」	18回	45名
11	京丹波スリーA	19回	95名
12	くるみの会	4回	20名
13	コーラスカナリア	27回	324名
瑞穂支所活動計（ロ）		815回	1,796名

③和知地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間活動延べ人数
1	要約筆記サークル「くさぶえ」	72回	208名
2	朗読ボランティア「こだま会」	12回	66名
3	ガイドヘルパー「みちづれ」	117回	55名
4	十三の会	80回	148名
5	七八会	30回	61名
6	みんなで手をつなごう会	11回	78名
7	大迫グループ	19回	58名
8	虹の会	79回	163名

9	お誕生カードづくりボランティア「天花」	10回	52名
10	手芸ボランティア「モチーフ」	11回	41名
11	ふれあい給食サービス「調理ボランティア」	20回	113名
12	ふれあい給食サービス「配食ボランティア」	408回	612名
13	彩いろグループ	16回	176名
14	才原グループ「ふきのとう」	4回	8名
和知支所活動計（ハ）		889回	1,839名
総 合 計（イ+ロ+ハ）		2,272回	7,504名



<大迫グループ：長老苑掃除ボランティア>



<七八会：作業所ともども活動支援ボランティア>

（2）個人ボランティア活動報告

活 動 内 容	活動回数	活動者数
京丹波町身体障害者福祉会体育大会のボランティア支援	1回	3名
瑞穂山彦苑夏祭りボランティア	1回	11名
全京都車イス駅伝競走大会ボランティア	1回	2名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵原画書き	20回	2名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵名前書き	20回	3名
京たんば花火大会清掃ボランティア	1回	8名
毎日給食絵手紙ボランティア	8回	21名
保育ボランティア	12回	33名
マジックボランティア	1回	1名
合 計	65回	84名

3 ボランティア研修・養成講座・交流会の開催

研修・講座名	開催日・場所	対 象	内 容
第1回 南丹ブロック 傾聴交流会 講師： 栗木 剛 氏	令和元年11月1日(金) 13:30～16:00 南丹市国際交流会館 コスモホール	亀岡・南丹・ 京丹波の3 社協の傾聴 グループ 参加人数34 人	亀岡・南丹・京丹波の傾聴グループ交流会を初実施。3つのテーマ（傾聴活動のきっかけ、やっていた良かったこと、活動のポイント）を話し合う事で同じ思いを持った仲間がいる安心感や今後の活動への意欲につながったとの声があった。 地域によって個人宅への訪問、施設への訪問などの活動の違いがあり、違いも含めて今後の交流につなげていきたい。

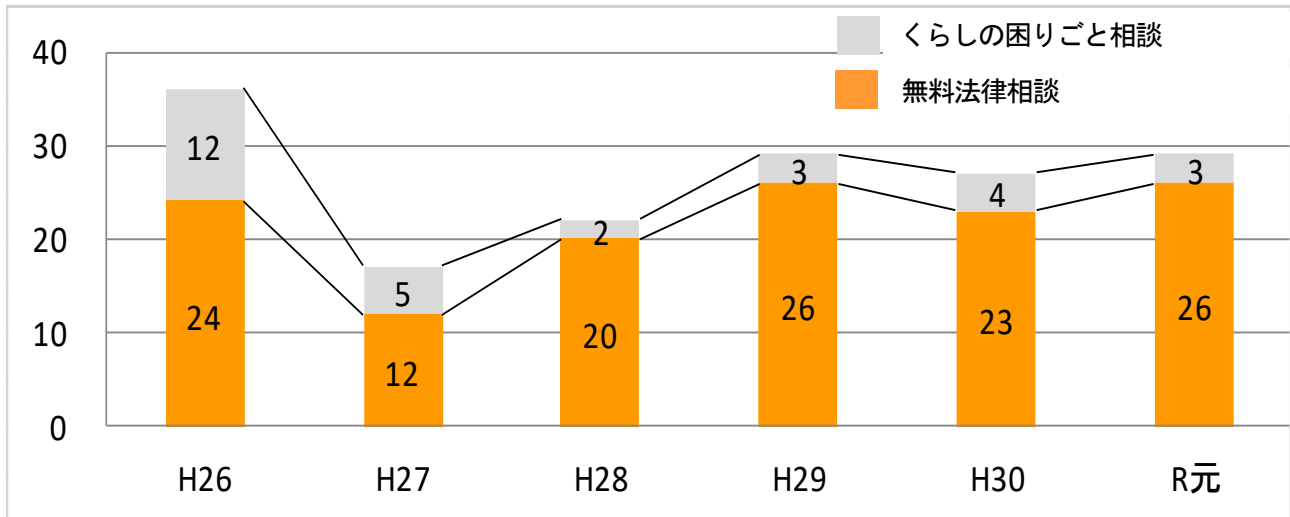


【厚生福祉事業】

1 心配ごと相談事業

※来談者の推移（「心配ごと相談」はH29より「くらしの困りごと相談」に名称変更。）

（単位：人）



くらしの困りごと相談	開催日	来談者	無料法律相談	開催日	来談者
和知	4月15日	0	瑞穂	4月1日	2
丹波	5月13日	0	丹波	5月13日	2
瑞穂	6月10日	1	和知	7月1日	2
和知	7月1日	0	瑞穂	8月5日	5
丹波	8月19日	0	丹波	10月7日	4
瑞穂	9月2日	0	和知	11月11日	1
丹波	10月7日	2	丹波	12月2日	1
和知	11月11日	0	和知	2月3日	4
丹波	12月9日	0	瑞穂	3月2日	5
瑞穂	1月6日	0			
和知	2月3日	0			
瑞穂	3月16日	0			
合計		3件	合計		26件
平成30年度実績合計		4件	平成30年度実績合計		23件

【成果・課題】

- ・相談内容が複雑化しているため、事前に申し込み連絡があった場合には相談概要の聞き取りを行う必要があると感じた。
- ・精神疾患のある女性の就労、家計、子育て等の相談について、こども未来課保健師と社協相談支援係、計画相談員が連携して対応した。
- ・和知会場での相談が無い場合、令和2年度は試行的に曜日と時間帯を変更して開設していく。

2 福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者が属する世帯を対象に、その世帯の状況・必要性に応じて無利子または低利で資金を貸し付ける事業。

(1) 新規貸付状況

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
生活福祉資金貸付	0	0	0	0
くらしの資金貸付	0	2	0	2

(2) 担当者会議・研修の受講状況

研 修 名	開 催 日	内 容
令和元年度生活福祉資金貸付事業運営会議	6/27 (木)	・平成30年度生活福祉資金貸付事業の総括 ・令和元年度の方向性 ・貸付運用方針の見直しについて
令和元年度生活福祉資金貸付事業担当職員研修 (教育支援資金)	7/18 (木)	・高等学校・大学等進学に係る教育支援資金の取り扱いについての研修会
令和元年度生活福祉資金貸付事業担当職員研修 (償還研修)	9/6 (金)	・生活福祉資金の償還に関しての府社協方針の確認と事例検討などを通じた償還促進に関する研修

【成果・課題】

(くらしの資金)

- ・生活費の不足1件、高額な医療費の支払いによる困窮1件の貸付の申し込みがあり、審査会を開催し2件の貸し付けを行った。

(生活福祉資金)

- ・貸付の相談に来られた相談者もあったが、多額の延滞金や高額のローン返済中の方、他事業で対応すべき内容の方であり貸付につながるケースは無かった。また、問い合わせの中には「借金の返済で苦しいのでお金を貸してほしい」という方など、本貸付事業では対応できないケースもあった。
- ・教育支援資金に関しても1件の相談があったが、貸付対象とならない公立高校への進学の相談であったため貸付にはつながらなかった。

3 総合相談事業

(1) 相談受付内容

金銭関係	介護等相談	書類等手続き	その他	合 計
28件	6件	2件	15件	51件
(うち障害者) 12件	(うち障害者) 2件	(うち障害者) 0件	(うち障害者) 7件	(うち障害者) 21件

※その他の相談概要

成年後見制度紹介、成年後見制度説明、生活困窮、通帳・はんこ紛失、ひきこもり相談、緊急時の病院紹介希望、家の片づけ、夫婦間トラブル、近所のトラブル

※障害者の相談については、総合相談で受付けた障害にまつわる相談の数。『相談支援センターにじ』が受付けた相談件数とは異なる。

(2) 相談対応結果

他機関紹介	多職種連携対応	社協事業対応	その他	合計
4件	12件	20件	15件	51件
司法書士 町住民課 保健福祉課 日弁連 労働基準監督署	保健福祉課 保健師 包括支援センター 南丹保健所 障害者相談員 あい愛 小学校 他市町村社協 郵便局	福祉サービス利用 援助事業 くらしの資金 生活福祉資金 にじの家 障害者相談員 ファミサポ 傾聴対応	成年後見制度説明 親族へ連絡 自力で解決 家計相談 ひみつきち 病院紹介 傾聴のみ	

【成果・課題】

- ・相談内容は金銭関係の相談がもっとも多く、次いで介護等の悩みの相談が多く入った。その他にも様々な相談が入ったが、書類等の手続きに関する相談は少なかった。
- ・対応としては、地域福祉権利擁護事業や福祉資金の貸付、障害者相談員対応などの社協事業での対応することが最も多く、次いで行政（保健福祉課・包括支援センター）・ケアマネ・医療機関など多職種で連携して行う対応が多く、行政等関係機関へつないだり相談窓口を紹介したりする対応については少なかった。
- ・『その他』の相談内容を見ると、社協事業や多職種連携などでも対応し難い相談もあり、そのような場合はしっかり傾聴し相談者の気持ちに寄り添うよう対応を行った。

【福祉関係組織活動支援】

1 日赤社員増強運動

項目	丹波	瑞穂	和知	合計
社資協力募金額	683,550円	517,900円	451,951円	1,653,401円

2 共同募金実績

(1) 赤い羽根共同募金運動 ⇒ 10月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項目	内容	合計	
募金額	令和元年度募金額	2,964,160円	
配分総額	平成29年度募金の配分金	2,461,794円	
前年度配分金	平成29年度募金の配分金(未交付分)	410,547円	
配分内訳	①啓発活動	広報ほほえみ発行	530,000円
	②高齢者福祉事業	町老連助成・一人ぐらし高齢者交流	390,000円
	③障害児・者福祉活動	町身体障害者福祉会助成等	130,000円
	④母子・父子福祉活動	町母子寡婦福祉会助成	130,000円
	⑤児童青少年福祉活動	町内小中学校福祉活動助成	210,000円
	⑥地域福祉活動	公募助成・かがやき活動・福祉まつり	826,771円
	⑦防災・災害対策事業	災害時用備品の購入	342,690円
	⑧未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	312,880円

(2) 歳末たすけあい募金 ⇒ 12月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項目	内容	合計	
令和元年度募金額	戸別募金、法人募金、個人募金	1,715,876円	
配分総額	令和元年度募金の配分金	1,578,876円	
前年度配分金	平成30年度募金の配分金(未交付分)	380,150円	
配分内訳	①在宅援助活動	見舞・激励金の配布	885,000円
	②在宅サービス事業	年末お掃除隊、買物支援、介護用防水シート配布	669,950円
	③共同作業所支援	共同作業所交流会支援	100,000円
	④未交付配分金	京都府共同募金会へ繰越金を送金	304,076円

(3) 京丹波町共同募金運営委員会・・・1回

5/21(火)	事業報告及び事業計画について
---------	----------------

(4) 京丹波町共同募金委員会審査委員会・・・3回

6/10(月)	じぶんの町を良くする活動助成事業審査会
8/29(木)	歳末たすけあい募金配分事業について
11/28(木)	歳末激励金事業について
3/9(月)	※コロナウイルス対策のため中止

【成果・課題】

・赤い羽根募金も歳末募金も前年度を下回る募金額となった。戸別募金の減少が主な理由である。様々な募金活動や負担金がある中で、共同募金の使い道をしっかり広報し必要性を呼びかけていきたい。

3 京丹波町老人クラブ連合会

京丹波町老人クラブ連合会と丹波・瑞穂・和知それぞれの支部活動を支援するため、事務局機能を担っている。

【災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告】

1 支援活動

(1) 支援活動

【京丹波町災害ボランティアセンターの設置・運営】

令和元年度は町内で大きな被害が無く、災害ボランティアセンターを設置することは無かった。

【他市町村社協災害ボランティアセンター支援】

①南丹ブロック社協との連携・共同

京丹波町社協は、近年多発する災害に対し、相互に協力を行うことで早急な復旧活動につなげることを目的として、令和元年6月7日に亀岡市社協、南丹市社協と共に「災害ボランティアセンター協定」を締結した。それに関連して南丹ブロック社協として協働できることを検討するための会議を計5回開催した。その会議において南丹ブロック社協として協働できるようにするための災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を開催する計画を立てた。開催については、令和2年度となる。

②京都府市町村社協連合会の派遣

台風第19号・10月25日からの大雨で京都府市町村社協連合会の福島県派遣要請があったが、調整が合わず職員を派遣することはできなかった。しかし府災ボラが被災地へ送る災害用資機材を亀岡の倉庫から長岡京市のバス車庫まで11月1日（金）に運搬する業務を担った。

2 研修・講座

研 修 名	開 催 日	内 容
令和元年度京都府災害ボランティアセンター総会	6/8（土）	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告及び決算 令和元年度事業計画（案）及び予算（案） 役員改選
令和元年度京都府災害ボランティアセンター全体研修	6/8（土）	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度総会及び重点事業について 平成30年7月豪雨の府災ボラ活動報告 倉敷市災ボラセンターの取組について
令和元年度第1回京丹波町災害ボランティアセンター運営検討会議	6/18（火）	<ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアセンターの運営について 各課災ボラ担当者の役割について 平成30年度取組みの振り返り 令和元年度の取組みについて検討
令和元年度市町村災害ボランティア担当者会議	6/21（金）	<ul style="list-style-type: none"> 京都府社協及び府災ボラの取組みについて D-WATの取組みについて 無線機の取り扱いについて 各市町村社協VCより実践報告 ※京丹波町社協から実践発表をした。
南丹ブロック社協災害時における相互協定に関する打ち合わせ（第1回）	7/29（月）	<ul style="list-style-type: none"> 各社協・災害VCの取組みについて 相互協力に向けてできることについて検討
南丹ブロック社協災害時における相互協定に関する打ち合わせ（第2回）	9/20（金）	<ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアセンター合同訓練について 相互協力に向けてできることについて検討
令和元年度第2回京丹波町災害ボラセン運営検討会議	10/28（月）	<ul style="list-style-type: none"> 南丹ブロック等の検討内容報告 町民講座、職員研修の検討
南丹ブロック社協災害時における相互協定に関する打ち合わせ（第3回）	11/5（火）	<ul style="list-style-type: none"> 南丹ブロック災害ボランティアセンター合同訓練についての検討
水原サロン	11/11（月）	<ul style="list-style-type: none"> 防災ハザードマップを用いた防災学習

(サロンで防災学習を行った)		<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンターの取組みについて ・平成30年7月豪雨について (DVD と講義) ・非常食試食体験
令和元年度京丹波町災害ボランティアセンター町民講座	11/16 (土) 参加者 33 人	<ul style="list-style-type: none"> ・町の防災の取組みについて ・災害ボランティアセンターからのお知らせ ・講義「子育てから介護まで今日から絶対に役に立つアウトドア流×防災講座」 講師 アウトドア流防災ガイド あんどうりす 氏
京都府災害ボランティアセンタートップセミナー (1日目)	11/26(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における危機管理「BCP(事業継続計画)」を通じたセンター機能強化を目指して (講義)
令和元年度第3回京丹波町災害ボラセン運営検討会議	12/3 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹ブロック等の検討内容報告 ・町民講座の振り返り ・職員研修の検討
亀岡市災害ボランティアセンター講演会	12/15 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県棒東村社協による基調講演 ・府災ボラ初動支援チームからの活動報告
令和元年度第4回京丹波町災害ボラセン運営検討会議	1/9 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹ブロック等の検討内容報告 ・職員研修の検討
南丹ブロック社協災害時における相互協定に関する打ち合わせ (第4回)	1/20 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹ブロック災害ボランティアセンター合同訓練についての検討
京都府災害ボランティアセンタートップセミナー (2日目)	1/23(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における危機管理「BCP(事業継続計画)」を通じたセンター機能強化を目指して (ワーク)
南丹ブロック社協災害時における相互協定に関する打ち合わせ (第5回)	2/13 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹ブロック災害ボランティアセンター合同訓練についての検討

【成果・課題】

- ・令和元年6月7日に亀岡市社協・南丹市社協・京丹波町社協の3社協(南丹ブロック)が災害ボランティアセンターの相互協力に関する協定を締結した(写真:下2枚)。それに関連し、南丹ブロックで相互協力に関する打ち合わせ会を開催し、相互協力に向けてできることについて検討を進めている。



＜南丹ブロックにおける災害ボランティアセンターに関する協定の締結＞

- ・初めて若年層にターゲットを絞った講座が開催出来た。本来は8月末を予定していたが、講師の都合で11月中旬の時期になってしまった。多くの方に来てもらいたいが、調整に苦慮する。
- ・参加者にも好評で「継続してほしい」「短かった」という意見をいただいた共感を得ることができた。
- ・近隣社協（亀岡市社協・南丹市社協）からも参加があり、情報共有しながら合同で取組める行事も検討していきたい。



<令和元年度京丹波町災害ボランティアセンター町民講座>